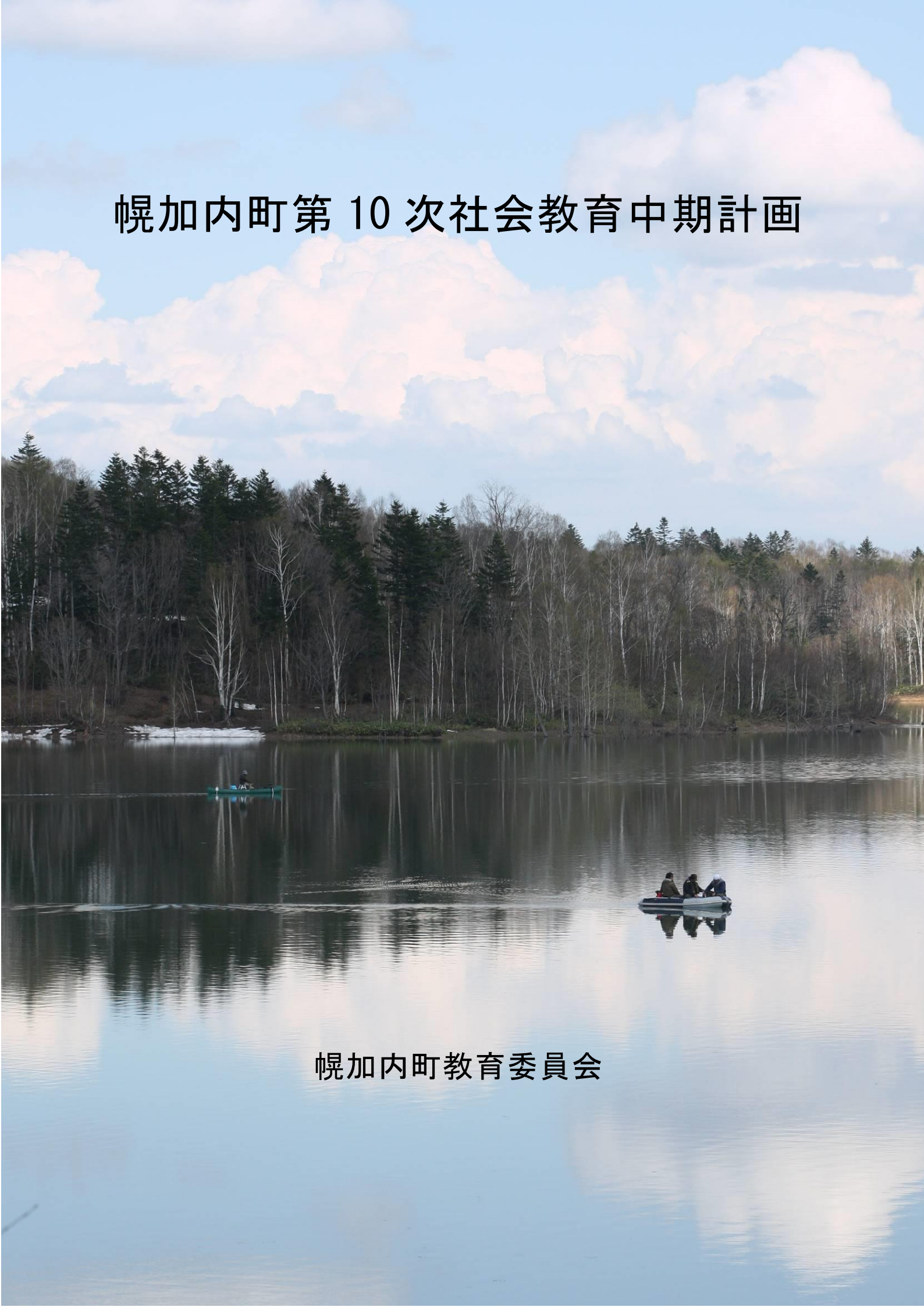
幌加内町第 10 次社会教育中期計画



幌加内町教育委員会

はじめに

今日、幌加内町に暮らす私たちには、先人が積み重ねた歴史を振り返り、その偉業に感謝しながら、託された貴重な財産を受け継ぐとともに、新しい価値を創造し、未来に引き継いでいく責務があります。

また、これからの社会は急速な技術革新やグローバル化の一層の進展などにより大きく変化することが予想されています。さらに、本町において進行する人口減少は、地域の教育環境の形成に大きな影響を与えています。

こうした状況の中で､町民一人一人が社会の変化に主体的に向き合いながら、夢と誇りを持って暮らし、豊かな人生を送ることができる、活気に満ちた地域をつくるためには、人づくりを着実に推進することが重要です。

この度､「いきいきと学び、互いにつながり、地域で活動する、心豊かな人づくり」を基本目標に、第 10 次幌加内町社会教育中期計画を策定しました。

今後は、本計画に示した目標の達成に向けて、各関係団体はもとより、町民の方々とも認識の共有を図りながら、各施策を効果的に展開し、計画の着実な推進に努めてまいりますので、一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和３年３月

幌加内町教育委員会

目 次

第１章　計画策定の基本的な考え方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
　１　計画策定の趣旨・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
　２　計画策定の性格・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
　３　計画の名称・期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
　４　計画の構成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

第２章　幌加内町を取り巻く状況と社会教育の状況・・・・・・・・・・・・・ 4
　１　幌加内町の特性と可能性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
　２　幌加内町を取り巻く状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
　３　幌加内町の社会教育の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
　(1) 社会教育の成果
　(2) 社会教育の課題
　(3) 社会教育の今日的な意義・役割
第３章　基本目標の設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
　１　基本目標の設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
　　いきいきと学び、互いにつながり、地域で活動する、心豊かな人づくり
　(1) 視点１「いきいきと学ぶ人」
　(2) 視点２「互いにつながる人」
　(3) 視点３「地域で活動する人」
　２　推進目標の設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
　(1) いきいきと学び、つながり、行動する社会教育活動の推進
　(2) 心豊かな人をつくる文化芸術活動の推進
　(3) 地域性を生かした活力あるスポーツ活動の推進
　(4) 学びと活動を支える、持続可能な学習環境の整備

第４章　現状と課題、推進方策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
　１　いきいきと学び、つながり、行動する社会教育活動の推進・・・・・ 8
　(1) 乳幼児（就学前)、少年（小学生、中高校生）
　(2) 青年（概ね高等学校卒業以後～２９歳）・成人・高齢者（65 歳以上）
　２　心豊かな人をつくる文化芸術活動の推進・・・・・・・・・・・・・・12
　(1) 文化芸術
　３　地域性を生かした活力あるスポーツ活動の推進・・・・・・・・・・13
　(1) スポーツ
　４　学びと活動を支える、持続可能な学習環境の整備・・・・・・・・・14
　(1) 社会教育施設

資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15

第１章　計画の基本的な考え方

１　計画策定の趣旨

新しい時代を町民一人一人が夢と誇りを持って生き生きと暮らし、豊かな人生を送り、活気に満ちた地域をつくるためには、人づくりを着実に推進することが重要です。

教育基本法第３条において「国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現を図らなければならない」と生涯学習の理念が規定されています。

また、第 12 条では「個人の要望や社会の要請にこたえ、社会において行われる教育は､国及び地方公共団体によって奨励されなければならない」､「国及び地方公共団体は、図書館、公民館その他の社会教育施設の設置、学校施設の利用、学習機会及び情報の提供その他の適当な方法によって社会教育の振興に努めなければならない」と国及び地方公共団体の役割を明確にしています。

社会教育は、個人が生涯にわたって多様な学習を行い、その成果を生かす実践の機会を提供するものとして生涯学習社会の実現に向けて中核的な役割を果たすべきものです。

幌加内町教育委員会では、これまで中期的な展望に立って社会教育施策を総合的かつ計画的に推進するために、概ね５年毎に９次にわたって社会教育中期計画を策定してきました。

平成 27 年に策定した第９次社会教育中期計画では、「幌加内町第６次総合振興計画」（～元気な人、豊かな大地、ともに歩む協働のまち～）の理念のもと「いきいきと楽しく学べる生涯学習の推進とやさしさあふれる交流から生まれる心豊かな人づくり」を目指し、具体の施策を推進してきました。

この間、平成 28 年には「幌加内町第７次総合振興計画」（人に自然にやさしい故郷づくり～夢と誇りを持って生きいきと暮らすまち～）が策定されました。

このたび策定した第 10 次社会教育中期計画は、第７次総合振興計画の理念のもと、これまでの成果と課題をふまえ、本町の地域課題の解決と地域づくりに向け、幌加内町が目指す社会教育の基本的な考え方を示すものです。

２　計画策定の性格

(1) この計画は、幌加内町町民憲章、幌加内町教育目標、社会教育推進のもと、幌加内町第７次総合振興計画を基本理念として施策を展開しようとするものであり、本町の課題や社会情勢の変化などへ対応した今後の社会教育推進の指針となるものです。

(2) この計画は、生涯学習社会の実現に向けて、その中核を担う社会教育活動の推進を図るため、町民、関係機関、関係団体、ＮＰＯなどに対して、施策に対する理解と積極的な参画を求めていくためのものです。

3　計画の名称・期間

この計画の名称は、「幌加内町第 10 次社会教育中期計画」とし、令和３年度から令和７年度までの５ヵ年とします。なお、この計画は、国や道の動向や社会情勢の変化などを踏まえながら、必要に応じて、施策等の見直しを行うこととします。

4　計画の構成

(1) 第１章　計画策定の基本的な考え方

計画策定の趣旨、性格、名称・期間、構成を記述しています。

(2) 第２章　町を取り巻く状況と社会教育の状況

幌加内町の特性と可能性、社会教育の状況と課題、今日的な意義・役割を整理しています。

(3) 第３章　計画の目標

計画推進にあたっての基本目標と、課題を解決するための推進目標を示しています。

(4) 第４章　現状と課題、推進方策

目指す姿に近づくための社会教育推進に当たっての、現状と課題、具体的な推進方策について体系別に述べています。

第２章　幌加内町を取り巻く状況と社会教育の状況

１　幌加内町の特性と可能性

道立自然公園朱鞠内湖に代表される美しく豊かな自然は、湖沼、河川、山林など変化に富んでおり、水資源や森林資源は産業の基盤となっているほか、地球温暖化の防止の面でも貴重な役割を果たしています。さらに、雪が多く、冬が長いこと、-41.2℃を記録した日本最寒の地であることなどの気象的な特性は、冬の寒さや雪のハンディを克服する工夫や仕組みづくりを促し、町民の暮らしに豊かな恵みと多くの価値をもたらしています。一方、こうした自然環境は、今日の地球規模の気象変動とも相まって、大規模な自然災害を引き起こしており、適切な対策や対応のノウハウを蓄積することも必要となっています。また、雄大な自然と豊かな土地は、農林水産業とその産品の加工技術を発展させ、そばの町として認知をされているほか、地域の特性を生かした観光・レジャーなどのサービス産業の振興や優れた寒冷地技術の発達などを促すとともに、新たな文化や技術を受容し、自然と人間との共生、調和を基調とする幌加内町独自の文化を形成しています。

２　幌加内町を取り巻く状況

我が国の人口は 2008(平成 20)年をピークに、北海道では 1997(平成９)年をピークに減少局面に入りました。

幌加内町の人口はすでに 1942(昭和 17)年をピークに減少に転じ、現在も減少が続いています。人口減少に加え、少子化、高齢化も急速に進んでおり、まちづくりの担い手不足、コミュニティ機能の低下などが顕在化し、町民の生活に影響を及ぼすことが懸念されます。

また、技術革新やグローバル化、第４次産業革命の進展など、社会経済環境の急激な変化を受け、地域社会においても、住民が主体となり、変化に対応し課題を解決することが求められています。

こうした中で、時代の変化に対応し、地域の課題を解決し、地域づくりを進めていくために、町民の自主的な学びを支え、町民相互のつながりを促し、町の将来を支える人材の育成を担う社会教育の役割が一層重要となっています。

３　幌加内町の社会教育の状況

(1) 社会教育の成果

第９次中期計画では、緊急性・公益性・有効性・継続性を鑑みて、分野別に推進目標をたて、社会教育の各種施策に取り組んできました。

この間、社会教育事業を通じて、幅広い学習ニーズへの対応を行った結果、町民が自ら社会教育活動へ参加する意識が高まっています。

令和２年度に実施した「社会教育中期計画策定に係る住民意識調査」（以下、「住民意識調査」）では、過去２年間に、調査対象の 80％の人が何らか

の方法で学習しており、そのうち51%が学習の成果として「自分の人生を豊かにしている」と回答しています。

また、55%の人が社会教育事業に参加しており、そのうち26%が「仲間や知人が増えた」、21%が「健康の維持・増進に役立った」、「家庭や日常の生活に役立った」、18%が「地域や社会での活動に役立った」と回答しています。

これらの結果は「いきいきと楽しく学べる生涯学習の推進、やさしさあふれる交流から生まれる心豊かな人づくり」を目標に進めてきた取組の成果と考えられます。

(2) 社会教育の課題

第９次中期計画では、地域の課題を学び、学習で得た知識や技能をまちづくりやボランティア活動などに生かしている町民の割合が低い状況が続いていることや、学習を促進する指導的な役割を担う人材の不足を課題として、それらを解決するための取組が推進されました。

「住民意識調査」では、過去２年間に、45%の人が社会教育事業に「参加しなかった」と回答し、参加しなかった理由として、「きっかけがつかめない」、「必要を感じない」と回答している人がそれぞれ19%でした。

また、過去２年間に何らかの方法で学習した80%の人のうち、学習の成果として「地域や社会での活動に生かしている」と回答している人は15%にとどまっています。

一方「多くの人が地域や社会での活動に参加するためには、どのようなことが必要だと思いますか」に対し54%が「地域や社会に関する講習会の開催など、活動への参加につながるようなきっかけ作り」、52%が「地域や社会での活動を支える情報提供」と回答しています。

これらの結果から、今後一層、個人の学びを支えるためのきっかけづくり、個人の学習ニーズに対応した学習機会の提供、地域や社会での活動を支える情報と学習機会の提供を進めていく必要があります。

(3) 社会教育の今日的な意義・役割

人口減少や少子化、高齢化をはじめとする急速な社会情勢の変化により様々な課題が生まれる中にあって、住民の主体的な参加による持続可能な社会づくりに向けて、社会教育はこれまで以上にその役割を果たすことが期待されています。人口減少やコミュニティの衰退を受けて、住民参画による地域づくりが求められる中、社会教育を基盤とした人づくり、つながりづくり、地域づくりが一層重要です。

① すべての町民があらゆる機会、あらゆる場所を利用して自ら実際生活に即した文化的教養を高めることができるような環境を整え、きっかけをつくるように努めなければなりません。

② 町民の学習に対する多様なニーズを踏まえ、これに適切に対応するために必要な学習情報と学習機会を提供することにより、町民の生涯学習の振興に努めなければなりません。

③ 学校教育との連携の確保に努め、家庭教育の向上に資することとなるよう必要な配慮をするとともに、学校、家庭及び地域住民その他の関係者相互間の連携・協力を促進するように努めなければなりません。

第３章　計画の目標

１　基本目標の設定

いきいきと学び、互いにつながり、地域で活動する、心豊かな人づくり

この計画では、第９次計画の成果と課題を検証し「いきいきと学び、互いにつながり、地域で活動する、心豊かな人づくり」を幌加内町の社会教育推進の目指す姿として設定します。また、その達成に向け、次の３つの視点を下に基本施策を展開し社会教育行政を推進します。

(1) 視点１「いきいきと学ぶ人」

町民一人一人の学びは、「豊かな人生」「健康な暮らし」、「趣味や教養の充実」、「職業や地域の課題への対応」など、個人の意識や興味・関心をきっかけとして行われ、その過程を通して個人の知的欲求が満たされ、生活の改善や、人間としての成長、自己実現につながっていくことが期待されます。

(2) 視点２「互いにつながる人」

社会教育における学びの場では、町民の学びを通じたつながりの輪の中で、類似の興味・関心や同様の悩みを持つ者同士の助け合いや、異なる意見を持つ他者との論議が生まれます。このような相互学習を通して、相互に理解し認め合うことによる自己肯定感や幸福感、つながり意識などが醸成され、町民同士の絆が深まるなどの効果がもたらされることが期待されます。

(3) 視点３「地域で活動する人」

地域で共に学び、問題を共有したり、相互に認め合い、自らが地域の中に居場所を持っているという肯定感を得たりする過程を通じて、地域に対する愛着や誇り、帰属意識が育まれます。このことにより町民同士が対話や論議を通じて地域の将来像を考え、自らも当事者としてよりよい地域づくりに持続的に取り組もうと行動する意欲につながることが期待されます。

２　推進目標の設定

基本目標を受け、町民の生活課題や地域の課題を解決するため、社会教育の推進目標を次のとおり設定します。

(1) いきいきと学び、つながり、行動する社会教育活動の推進
(2) 心豊かな人をつくる文化芸術活動の推進
(3) 地域性を生かした活力あるスポーツ活動の推進
(4) 学びと活動を支える、持続可能な学習環境の整備

第４章　現状と課題、推進方策

１　いきいきと学び、つながり、行動する社会教育活動の推進

(1) 乳幼児（就学前)、少年（小学生、中・高校生）

①　現状と課題

乳幼児期から少年期は、生涯学び続けるための基礎を養う時期です。子どもたちが健やかに成長するためには、学校だけでなく、家庭や地域社会が教育の場として十分な機能を発揮することが必要です。

乳幼児期においては、人間への基本的信頼と愛情を育てていくことが基礎となります。親や特定少数の人との強い情愛的なきずなを形成するとともに、複数の人々とのかかわりを通じて認知や情緒を発達させ人格を形成していくことが重要です。

小学生期においては、後の成長の基礎となる体力・運動能力を身に付け、多様な知識・経験を蓄積し、家族や仲間との相互関係の中で自分の役割や連帯感などの社会性を獲得していくことが重要です。

中・高校生期においては、自分らしさを確立するために模索し、社会規範や知識・能力を習得しながら大人への移行を開始することが重要です。

全国の多くの地域、北海道の各地域では子どもの減少に伴う教育上のデメリットの顕在化や、人口減少による地域コミュニティの衰退、多様化する価値観、家族形態の変容による地域社会等のつながりや支え合いの希薄化など、学校や地域、家庭の教育力の低下が懸念されています。

また、ネットやゲームが子どもたちの身体や心に及ぼす影響についても、心配されており、幌加内町においても、子どもたちが加齢とともにスマホやゲームに費やす時間が増加し、読書の量が減少するなどの実態が報告されています。

地域一体となって子どもたちを育むために、様々な機関や団体が連携･協働し､すべての教育の出発点である家庭教育を支援するとともに、子どもたちを健やかに育てる教育環境づくりを進めなければなりません。

②　推進方策

●　子どもたちの体験活動の推進

子どもたちが、豊かな人間性、自ら学び、自ら考える力などの生きる力の基盤を身に付けるために、子どもたちが直接、対象にはたらきかけ、関わっていく体験活動の推進を図ります。

○　幌加内町の美しく豊かな自然を生かした体験活動の機会を提供します。

○　幌加内町の特色ある産業を生かした体験活動の機会を提供します。

○　地域におけるボランティア活動など、社会での体験活動の機会を提供します。
○　我が国や北海道、幌加内町の伝統や文化、外国の伝統や文化に親しむ体験活動の機会を提供します。
○　幅広い年齢層との多様な交流など、世代間での体験活動の機会を提供します。

● 子どもたちの読書活動の推進

子ども読書活動推進計画のもとで、総合的かつ計画的な読書活動の推進を図ります。

○　子どもの読書習慣を形成するための啓発活動、ブックスタート、読書ボランティアの育成などを行い、家庭・地域における読書活動を推進します。
○　巡回図書による学校等への配本、読書感想文コンクールなどを行い、学校等と連携・協働した読書活動を推進します。
○　子ども向けの新着図書や推薦図書の紹介、特集コーナーの設置などを行い、生涯学習センター図書室の環境整備を推進します。

● 家庭教育支援の推進

家庭は、子どもたちの健やかな育ちの基盤です。地域一体となって子どもたちを育むために、様々な機関や団体が連携・協働し、すべての教育の出発点である家庭教育の支援を推進します。

○　様々な機関や団体と連携・協働し、親子のふれあいの場の提供、保護者が子どもたちの望ましい生活習慣や学習習慣の確立について学習する機会を提供します。
○　様々な機関や団体と連携・協働し、子どもの運動習慣や食習慣などの生活リズム向上に関する啓発活動を推進します。

● 子どもたちの育ちを支える環境づくりの推進

社会情勢の変化に伴い､子どもたちを取り巻く環境も急激に変化し、新たな課題を生んでいます。様々な機関や団体が連携・協働し、課題について共有し、子どもたちの健全な育ちを支える環境づくりを推進します。

○　地域の大人が、学んだ知識や経験を、子どもたちの学びや成長に生かすことができる機会を提供します。
○　様々な機関や団体と連携・協働し、ネットやゲームが子どもたちの身体や心に及ぼす影響について、啓発活動を推進し、学習機会を提供します。

(2) 青年（概ね高等学校卒業以後～２９歳）・成人・高齢者（65 歳以上）

① 現状と課題

人口減少や少子化、高齢化をはじめとする急速な社会情勢の変化や取り組むべき課題の複雑化の中にあって、人々は学校教育を終えた後も、学習を続けていかなければなりません。

青年期においては、親の保護から抜け出し、社会の一員として自立した生活を営み、さらに公共へ積極的に参画し、地域づくりに貢献していくことが期待されます。

成人には、学習の担い手となるばかりではなく、学習の成果を生かし社会教育の担い手となることが求められています。更には、主体的な地域づくりの担い手の中核となって活動することが期待されています。

高齢者には、価値観が多様化する中で学習活動や社会活動を通じての心の豊かさや生きがいを充足させ、就業を継続したり日常生活を送ったりする上でも、社会の変化に対応して絶えず新たな知識や技術を習得することが必要となります。更には、積極的に社会参画し、多世代交流を行うなど、地域づくりの一翼を担うことが期待されます。

大人の学習においては、学びを学びで終わらせるのではなく、その成果を地域の活動の中で積極的に生かすことが重要です。その過程で、誰かの役に立っているという喜びを感じ、地域に対する愛着や誇りを持ち、より地域の活動に参画する熱意や、更なる課題解決のための新たな学びを求めるといった、学びと活動の循環が生まれます。

幌加内町では、大人の学習を活性化させるためには、必要とする学習の情報や機会を提供し、学習のきっかけをつくることが重要です。その上で、地域の優れた自然や文化、産業、食や観光資源など、「地域のよさ」を再認識する機会や、地域の諸課題を学ぶ機会、更には、学びの成果を生かす機会を提供していく必要があります。

また、学習の過程を通して、町民の学習を促進する指導的な役割を担う人材の育成も課題の一つとなっています。

② 推進方策

● 学びへの参加のきっかけづくりの推進（情報、学習機会）

町民の自主的な学びや行動を支え、互いにつながることができるよう、学びへの参加のきっかけづくりを推進します。

○ より多くの町民が、必要な学習情報を多様な方法で知ることができるよう、より一層きめ細かい学習情報の提供を行うとともに、学習相談体制の充実を図ります。

○ より多くの町民が、地域づくりを含む様々な活動に参加できるよう、地域の実情を踏まえた多様な学習機会を提供します。

● 現代的な課題に対応した学習の推進

人口減少や少子化、高齢化をはじめとする急速な社会情勢の変化の中で複雑化する課題を共有し、共に学び、町民の学びを通じたつながりづくりを推進します。

○ 技術革新やグローバル化、第４次産業革命の進展など、社会経済環境の変化に伴って生まれた現代的な課題について、学習する機会を提供します。

○ 高齢化の進行を踏まえ、日常の介護、生活習慣病の予防等、高齢者福祉・健康などについて、学習する機会を提供します。

● 地域のよさや課題に対応した学習活動の推進

地域について共に学び、問題を共有し、相互に認め合うことで、地域に対する愛着や誇り、帰属意識を持ち、町民同士が対話や論議を通じて地域の将来像を考える学習活動を推進します。

○ 朱鞠内湖や広大な森林に代表される身近にある本町の恵まれた自然環境という財産を､次代に引き継ぐための学習機会を提供します。

○ 幌加内町の主な産業である農林水産業や、食と観光等について理解を深める学習機会を提供します。

● 学びの成果を地域で生かす活動の推進

地域のよさや現代的な課題に関する学習をした成果を、地域の活動の中で積極的に生かすことができる取組を推進します。

○ 地域の課題に対応した学習機会の企画・運営を行政と地域住民、行政と民間、 地域住民と民間等、多様な主体が連携・協働して取り組むことのできる事業展開に努めます。

○ 今後、ますます、青年から高齢者まで幅広い年齢層が現役世代として地域活性化の担い手となる状況が想定されることから、学びの成果を生かす機会として、世代間の交流を図っていきます。

2　心豊かな人をつくる文化芸術活動の推進

(1) 文化芸術

①　現状と課題

文化芸術は、人々の創造性を育み、その表現力を高め、人々に潤いのある心豊かな生活をもたらすとともに、青少年の豊かな創造性や情操を育む上でも、重要な役割を果たしています。

また、文化芸術は、人々の心のつながりや相互に理解し尊重し合う土壌を提供し、多様性を受け入れることができる、心豊かな活力ある社会を形成します。

町民が潤いのある心豊かな生活を送る上でも文化芸術は必要不可欠なものです。「住民意識調査」では「あなたは、地域や社会でどのような活動に参加してみたいと思いますか」に対し、最も多い 39%の人が「スポーツ・文化活動」と回答しており、文化活動に対する関心がうかがわれます。

幌加内町では、文化連盟を中心に、各団体・サークルが「生涯学習フェスティバル」等で学習の成果を発表するなど、自主的に活動しています。

また、生涯学習センター「あえる 97」を拠点に文化芸術に関する学習機会及び芸術鑑賞に触れる機会を提供してきました。

その中で、各団体・サークルの会員の高齢化に伴う後継者の育成、事業の参加者の固定化傾向などが課題となっており、青年層の活動が期待されています。

②　推進方策

- 豊かな心を養う文化芸術活動に親しむ機会の提供

  より多くの町民が、様々な文化芸術に出会い、親しむことができるよう、地域の実情をふまえた多様な学習機会を提供します。

- つながる文化芸術活動の推進

  文化芸術を通して、より多くの町民がつながり、心豊かなで活力ある地域をつくることができるよう、文化芸術関係団体の活動を奨励し、後継者の育成を支援します。

- 文化芸術活動の場の充実

  より多くの町民が、文化芸術を通して学習した成果を積極的に発信できるよう、展示や発表の場の充実を図ります。

3　地域性を生かした活力あるスポーツ活動の推進

(1) スポーツ

①　現状と課題

スポーツは、心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進、精神的な充足感の獲得、自律心その他の精神の涵養等のために個人または集団で行われる運動競技や身体活動であり、今日、町民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む上で不可欠なものとなっています。

また、スポーツは、人と人の交流及び地域と地域の交流を促進し、地域の一体感や活力を醸成するものであり、人口減少やコミュニティの衰退、人間関係の希薄化等の問題を抱える地域社会の再生に寄与するものでもあります。

スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは全ての人々の権利であり、いつでも身近な地域でスポーツに親しむことのできる環境づくりを進めることが必要です。

本町では「町民皆スポーツ」を目標に生涯スポーツを振興してきました。各スポーツ少年団や小グループでの活動が活性化してきており、一定の成果がでています。

「住民意識調査」では「これから幌加内町の社会教育事業でどんな学習機会があれば参加したいですか」に対し、最も多い 36%の人が「健康・スポーツ」と回答しており、スポーツに対する高い関心がうかがわれます。

今後は、町民の幅広いニーズに応えるスポーツの機会を提供していくとともに、次代を担う指導者の育成を進めていく必要があります。

②　推進方策

● 多様なスポーツ活動機会の提供

より多くの町民が、様々なスポーツ活動に親しみ、参加できるよう、地域の特色を生かした多様なスポーツの機会を提供します。

● つながるスポーツ活動の推進

スポーツを通して、より多くの町民がつながり、心豊かなで活力ある地域をつくることができるよう、スポーツ関係団体の活動を奨励し、後継者及び指導者の育成を支援します。

● 野外活動及びレクリエーションの普及奨励

町民が、自らの健康の維持・増進や生きがいのある豊かな生活の実現のために行う野外活動及びレクリエーションの普及奨励に努めます。

4　学びと活動を支える、持続可能な学習環境の整備

(1) 社会教育施設

①　現状と課題

本町の特色である地理的要因から、現在まで、生涯学習センターをはじめ、公民館、生活改善センター、研修センター、コミュニティセンター、山村広場、町民プール、スキー場など、多くの公共施設を建設してきました。

これらの施設は、町民に身近な施設として、歴史的にも、人が学び、人が活動し、人が育ち、人がつながる場となっており、地域における社会教育の拠点として機能してきました。

近年、子どもから高齢者まで、町民や各団体・サークルに広く活用されている施設がある一方で、用途が重複する施設の利用率が低下傾向にあります。また、老朽化により、安全面や機能面の改善を図る必要な施設が多数あり、それらの維持・管理が大きな課題となっています。

施設の管理運営に関して、近年においては、様々な制度が導入され、本町でもそれらを活用し柔軟に取り組んできました。

一方で、社会教育施設の現状には厳しい意見もあります。それぞれの施設が真の地域の学習と活動の拠点として機能するためには、今後果たすべき役割を明確にするとともに、求められる役割を果たすための必要な取組を推進していく必要があります。

②　推進方策

● 施設の機能の充実

施設間の利用情報・利用申込などのネットワークを構築し、利便性を高めるとともに、学習需要の必要に応じて各施設の機能の拡充・高度化を図ります。

● 効果的・効率的な維持・管理運営

町民が、安心・安全に各施設を利用できるよう保守点検に努めるとともに、様々な制度を活用し、より一層効率的、効果的な管理運営に努めます。

● 施設の役割と在り方の整理統合

それぞれの施設が今後果たすべき役割を明確にするとともに、求められる役割を果たすための在り方について検討します。

資料編

● 幌加内町民憲章

私たちはナナカマドのように風雪に耐え、自然を克服した父祖の開拓魂を誇りに持ち､郷土の発展のため５つの柱に力強く 立ちむかうことを誓います。

1　健康で働き、豊かな家庭をつくりましょう。
1　あたたかく交わり、明るく楽しい社会をつくりましょう。
1　きまりを守り、住みよい平和なまちをつくりましょう。
1　草木を愛し、きれいな郷土をつくりましょう。
1　教養をたかめ、文化のまちをつくりましょう。

● 幌加内町教育目標

強靭な父祖の開拓魂を継承し、力強く郷土の課題にこたえ、民主社会のよりよい発展を期するため、積極的に生産活動と取り組む思考と行動の全人的活動を高揚し、たくましい科学的生産人を育成する。

1　町民の生活を物心ともに豊かにするため、常に合理的創造的に実践する態度と能力を養う。
1　家庭生活や社会生活に正しい理解と深い愛情を持ち、共に明るく楽しい郷土づくりに貢献できる態度と能力を養う。
1　寒冷多雪地帯に耐える強健な身体を保ち、衣食住の生活を合理化し進んで余暇を利用する態度と能力を養う。
1　うるおいのある文化生活を求め豊かな個性を養う。

● 社会教育推進の基本目標

生涯教育の観点に立った社会教育の推進をはかり、明るく豊かな町づくりを進める。

1　自ら学び、生きがいを深める社会教育活動を
1　健康でたくましい心身を育てるスポーツ活動を
1　情操豊かな心をはぐくむ文化活動を
1　生産性豊かな活力ある地域づくりを

● 幌加内町第７次総合振興計画

○基本理念　人に自然にやさしい故郷づくり
○将来像　夢と誇りを持って生き生きと暮らすまち
○まちづくりの目標

1　自然と共生したまち
2　生き生きと健やかに暮らすまち
3　住みやすくにぎわいと安心のあるまち
4　誇りと活力のあるまち
5　夢と豊かな心を育む学びのあるまち
6　みんなで築き合うまち

● 幌加内町第９次社会教育中期計画の基本目標及び推進目標

いきいきと楽しく学べる生涯学習の推進とやさしさあふれる交流から生まれる心豊かな人づくり

1　学びから行動へ。いきいきと学び、学びあうことができる学習機会の提供。
2　やさしさと交流から生まれる感動。豊かな心を養う芸術文化に触れる機会の提供。
3　町民皆スポーツ。地域性を活かした活力あるスポーツ活動の推進。
4　楽しく充実した学び。持続性ある学習環境の整備。

幌加内町第１０次社会教育中期計画策定に係る住民意識調査報告書

Ⅰ　幌加内町第１０次社会教育中期計画策定に係る住民意識調査実施要項

１　調査目的　　町民の学習活動に関する意識及び社会教育に関する現状を調査・分析することで社会教育中期計画策定の資料とする。

２　調査主体　　幌加内町教育委員会

３　調査機関　　幌加内町第１０次社会教育中期計画策定委員会（社会教育委員）

４　調査対象　　令和２年４月１日現在、本町に在住する１６歳から８９歳の住民から無作為抽出した各年代の男女各１０人、計１６０人

対象については、住民課から提供を受けたデータ一覧から、Excel のデータ分析のサンプリング機能を用い無作為に標本を抽出

５　調査方法　　(1) 質問紙によるアンケート調査
(2) プリコード回答法（単一回答形式及び複数回答形式）並びに自由回答法
(3) 郵送配付及び郵送回収

６　調査内容　　(1) 対象者について（帰属等）
(2) 生涯学習について（意識）
(3) 地域・社会活動について（意識）
(4) 幌加内町の社会教育事業について（実態）
(5) 幌加内町の社会教育施設について（実態）
(6) 幌加内町の社会教育行政について（実態）

７　調査期間　　令和２年６月２２日（月）～７月３日（金）

Ⅱアンケート調査の結果の概要

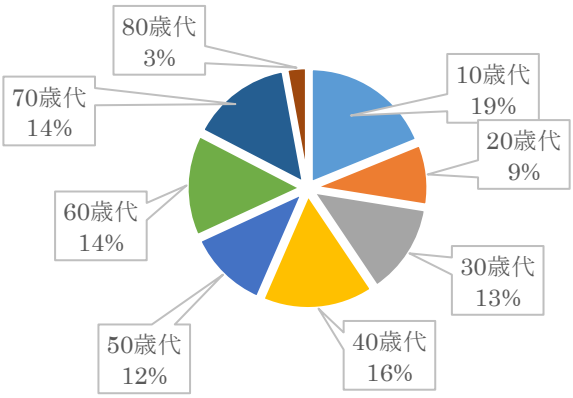
帰属等	全体	性別		年齢区分別							
	合計	男	女	10 歳代	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代	80 歳代
調査対象者数(人)	160	80	80	20	20	20	20	20	20	20	20
有効回答者数(人)	69	33	36	13	6	9	11	8	10	10	2
有効回答率	43.1%	41.3%	45.0%	65.0%	30.0%	45.0%	55.0%	40.0%	50.0%	50.0%	10.0%

１　対象者について（帰属等）

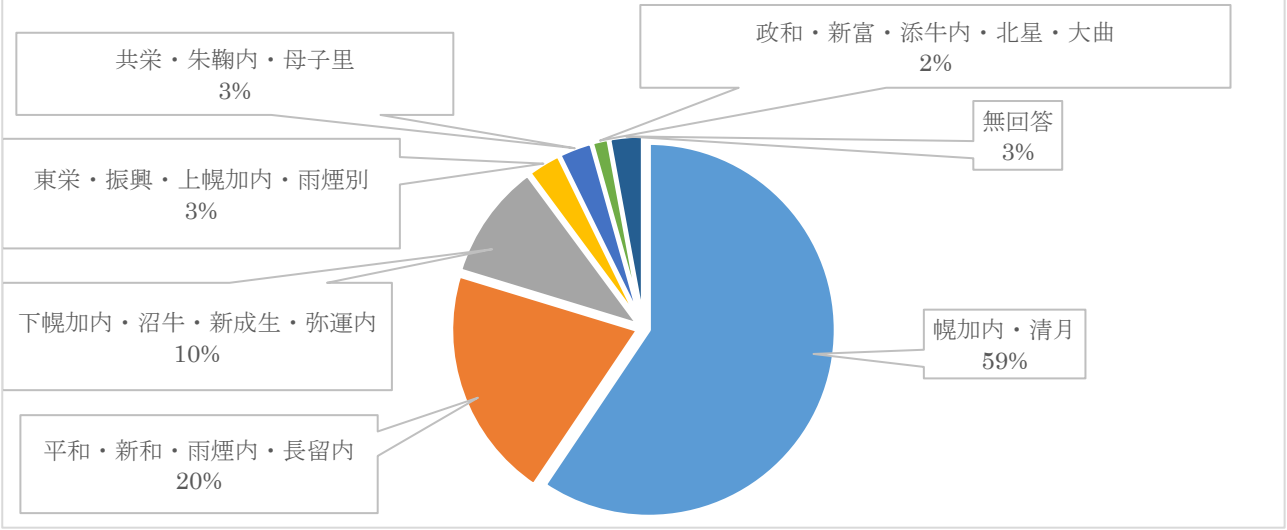
あなた自身のことについてお聞きします。

問１　あなたの性別をお答えください。n=69

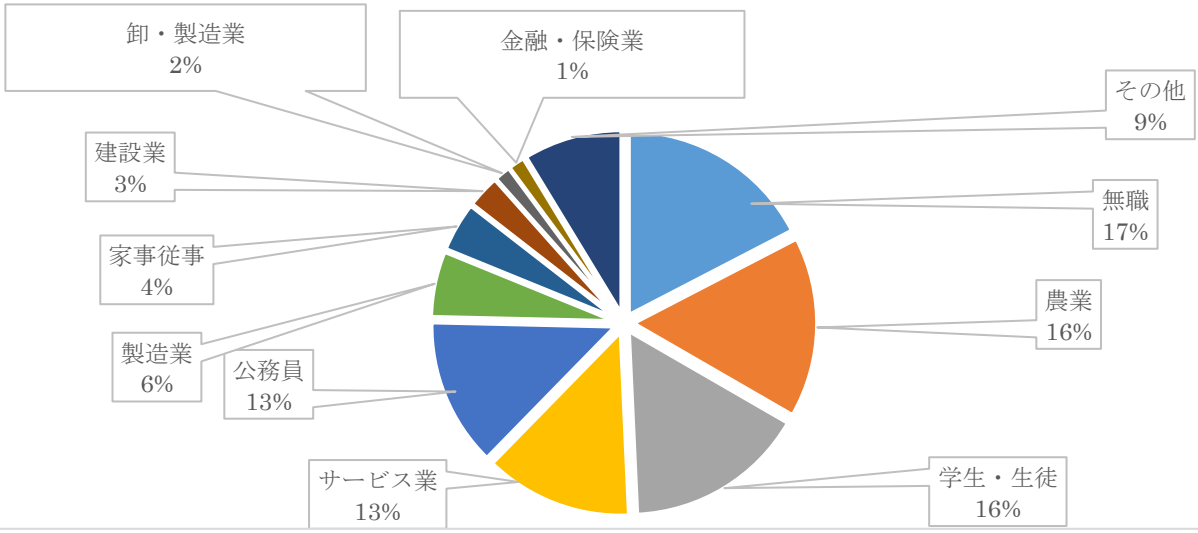
問２あなたの年齢区分をお答えください。n=69



問３あなたのお住いの地区をお答えください。n=69



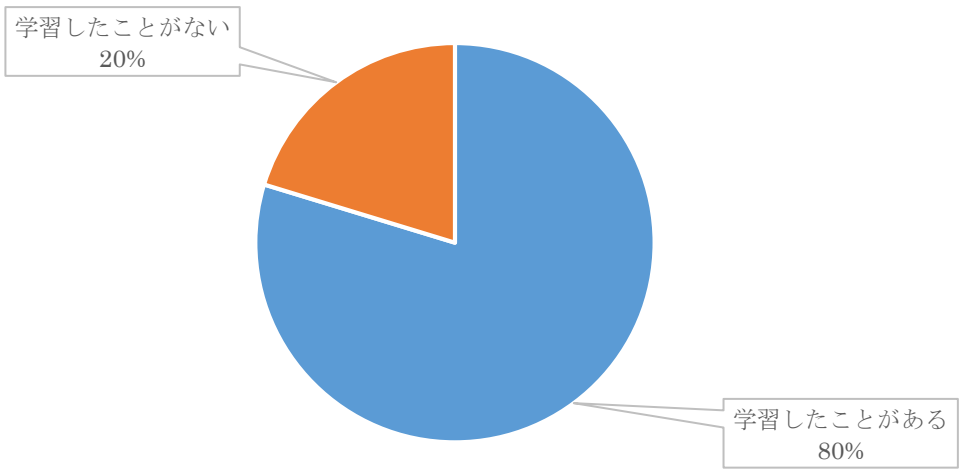
問４あなたの職業をお答えください。n=69



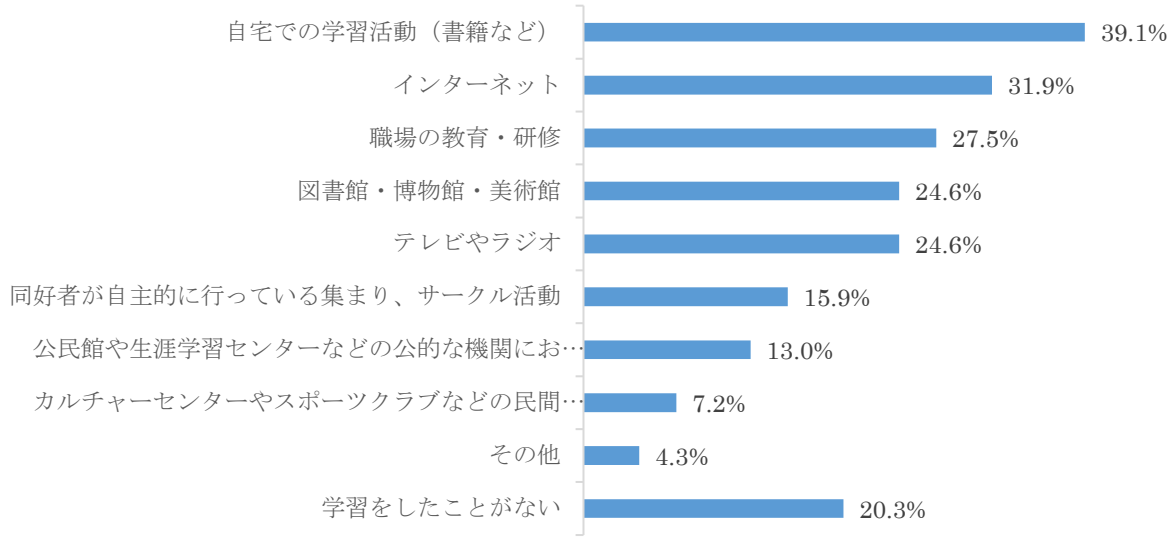
２　生涯学習について（意識）

あなた自身の学習についてお聞きします。

問５あなたは、この２年間くらいの間に、どのような場所や形態（学校教育を除く）で学習したことがありますか。n=69

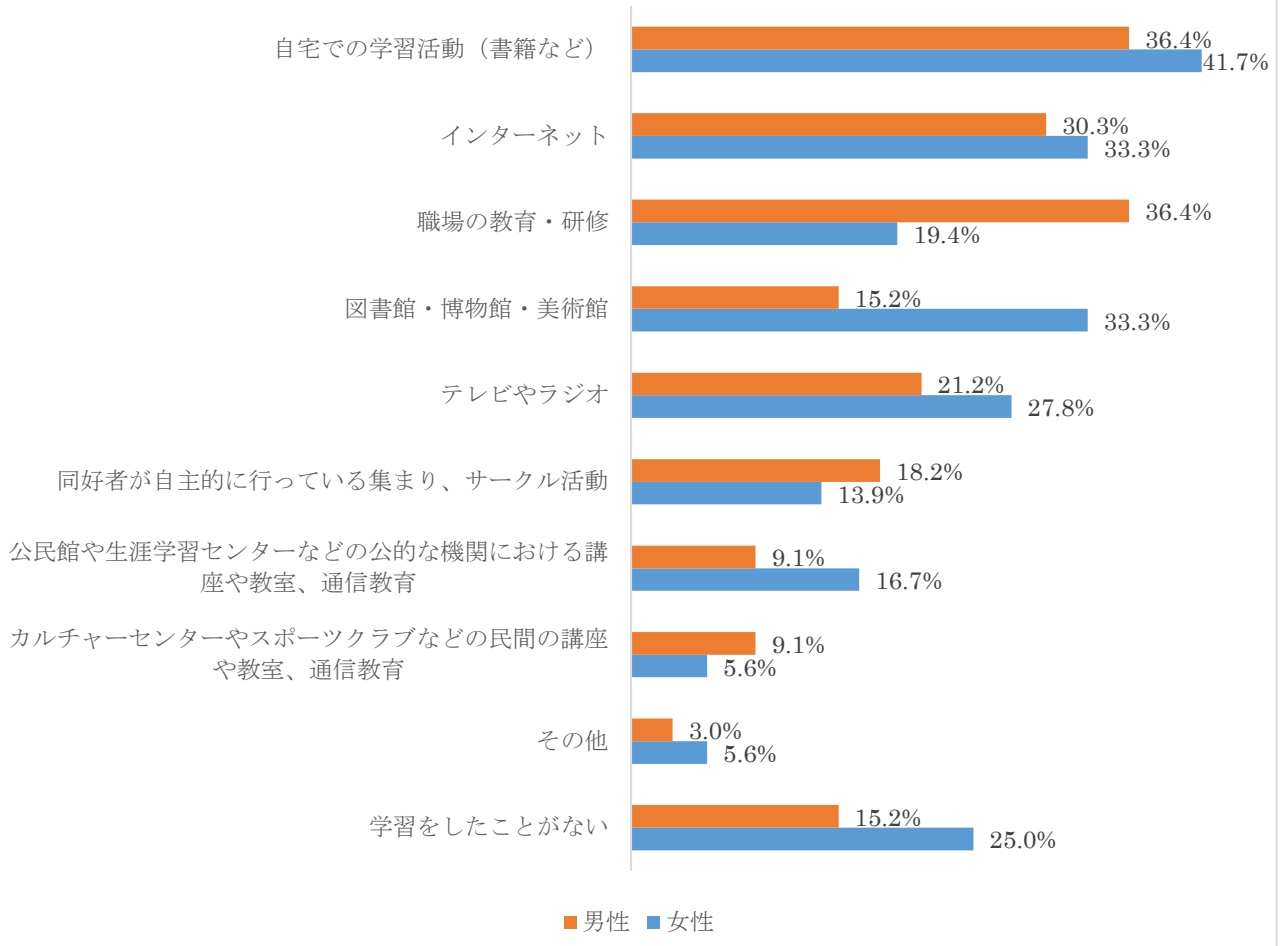


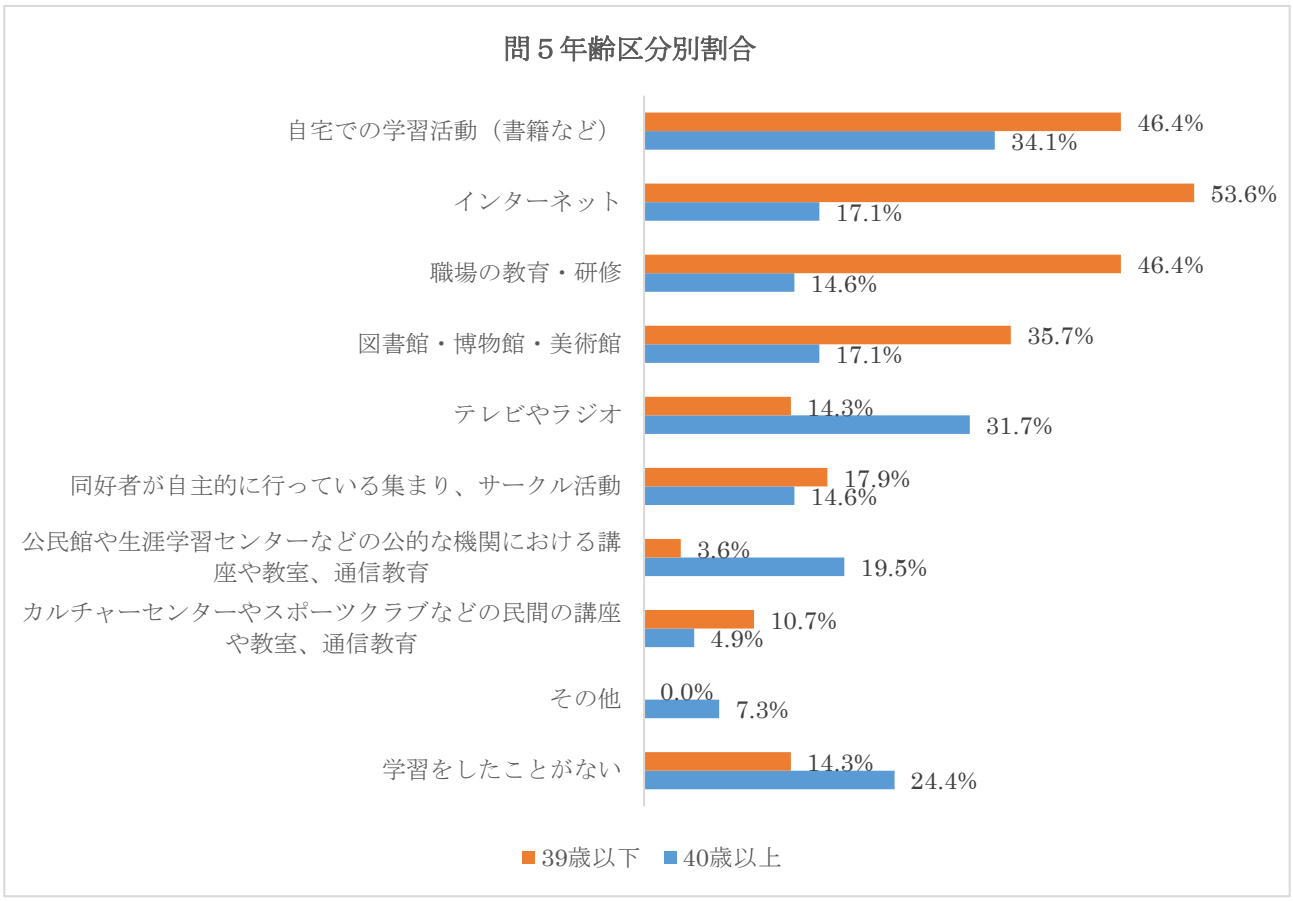
問５あなたは、この２年間くらいの間に、どのような場所や形態（学校教育を除く）で学習したことがありますか。この中からいくつでもあげてください。
n=69

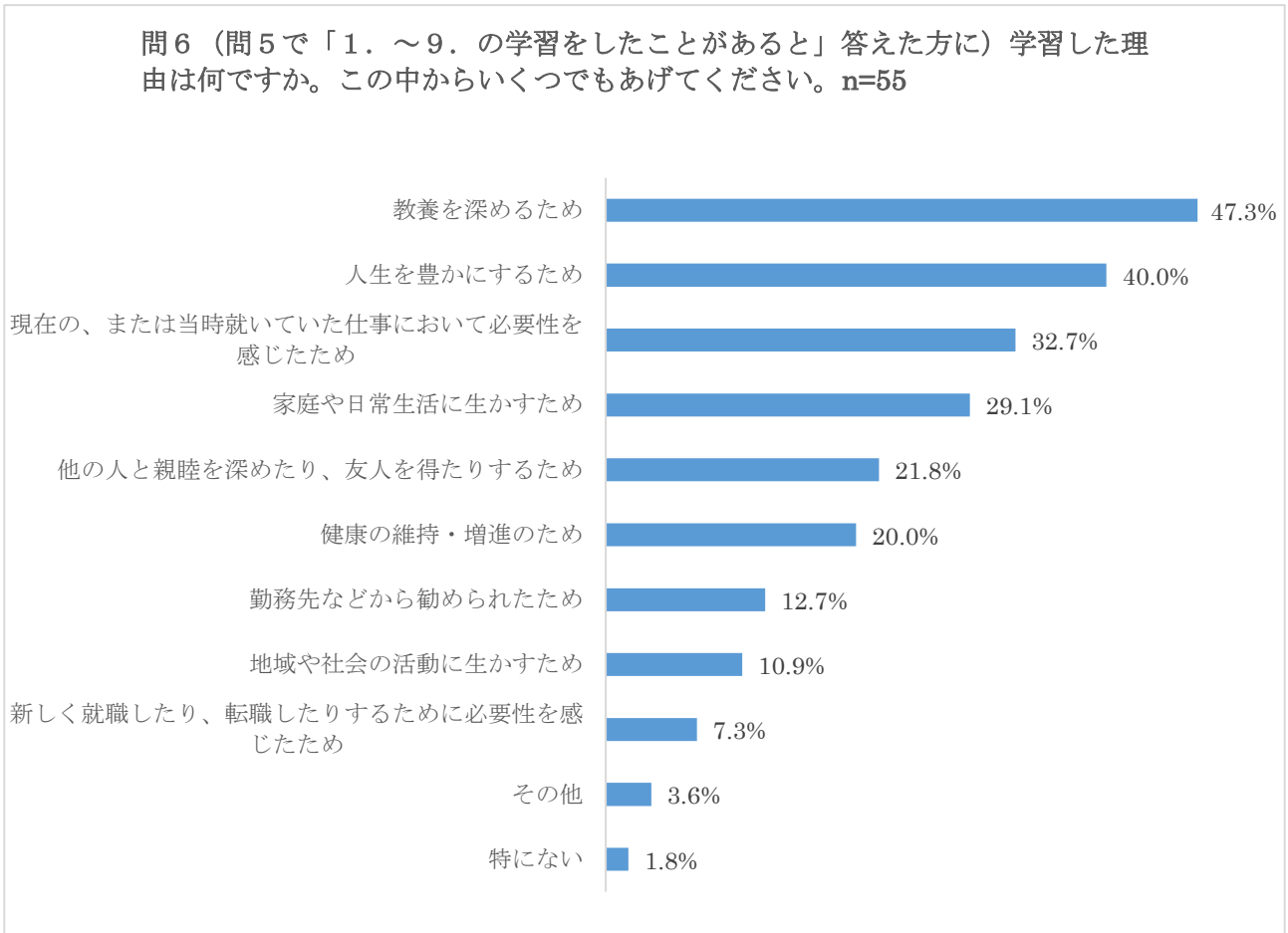


その他
・大型、大型自動車免許（男 50 代）
・自己研鑽のための研修（女 40 代）

問５男女別割合



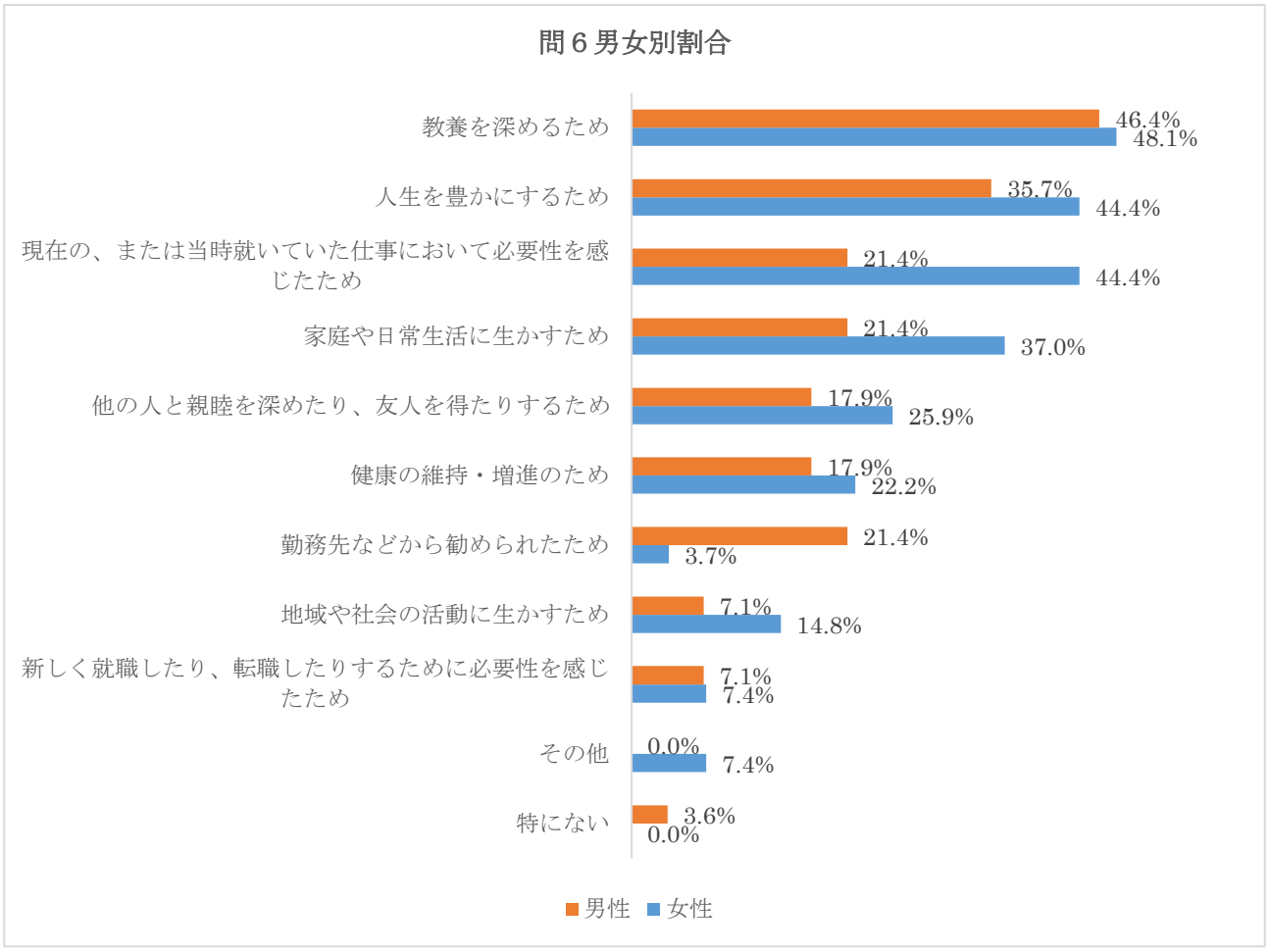


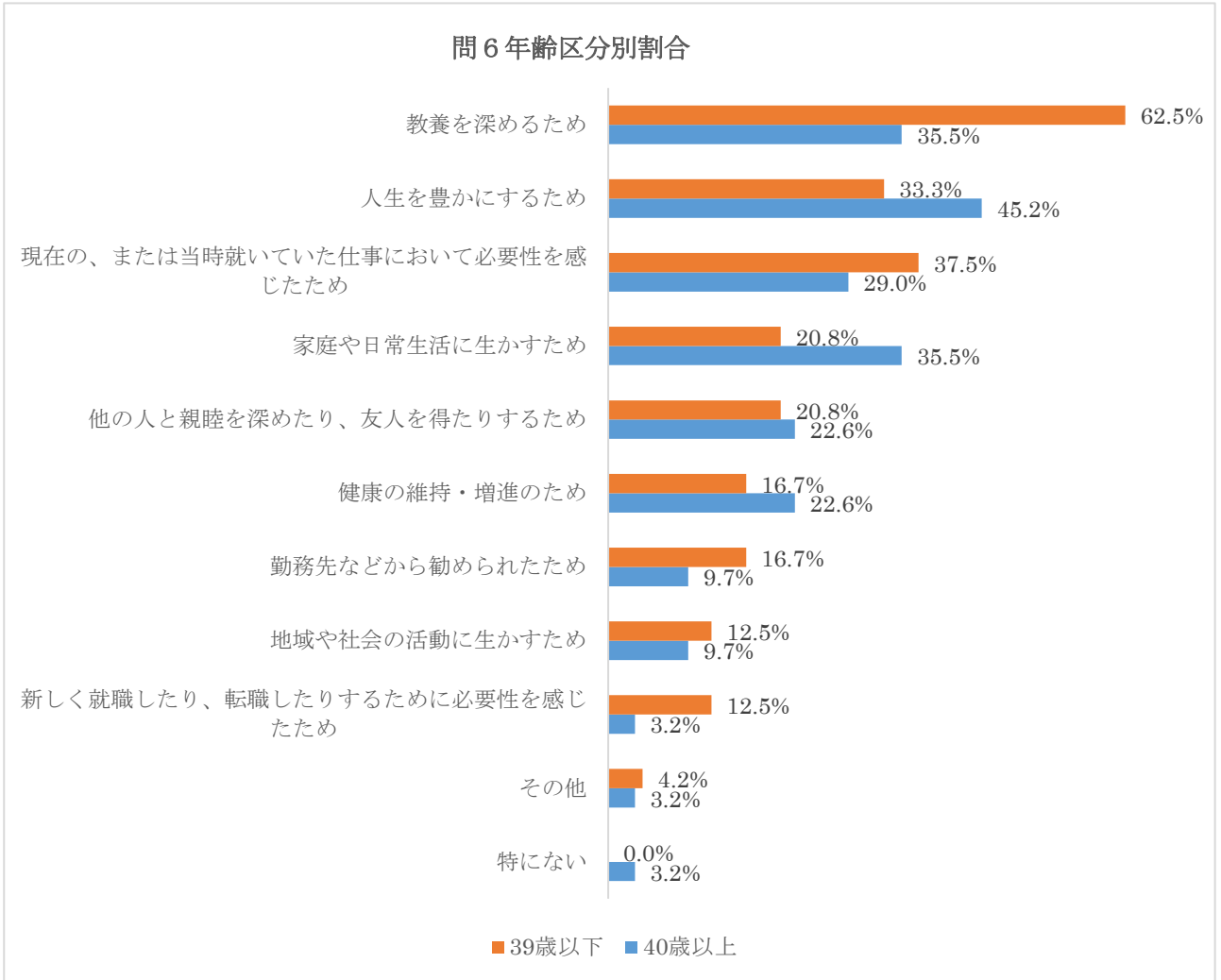


その他

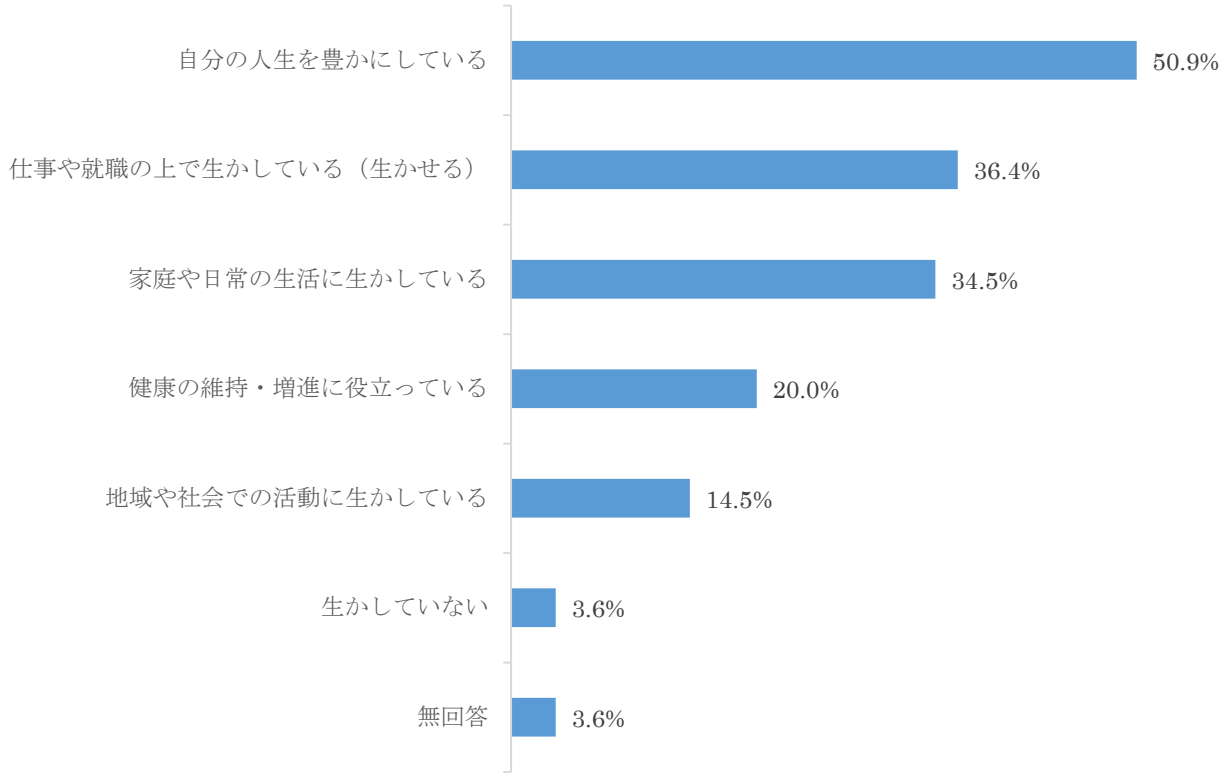
・試験等（女 10 代）

・興味がある、好きだから（女 50 代）

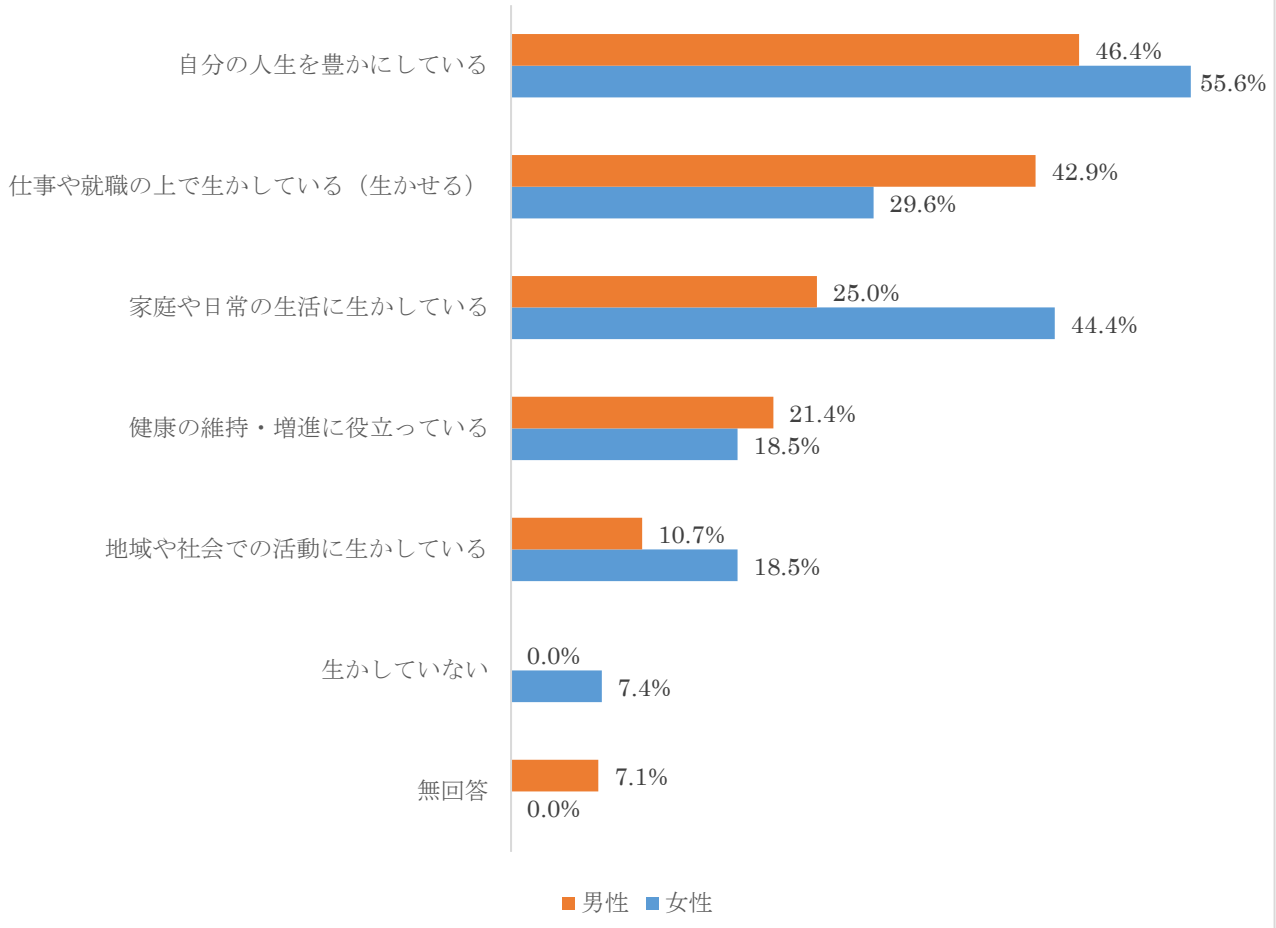

問６男女別割合
教養を深めるため
人生を豊かにするため
現在の、または当時就いていた仕事において必要性を感じたため
家庭や日常生活に生かすため
他の人と親睦を深めたり、友人を得たりするため
健康の維持・増進のため
勤務先などから勧められたため
地域や社会の活動に生かすため
新しく就職したり、転職したりするために必要性を感じたため
その他
特にない
46.4%
48.1%
35.7%
44.4%
21.4%
44.4%
21.4%
37.0%
17.9%
25.9%
17.9%
22.2%
21.4%
3.7%
7.1%
14.8%
7.1%
7.4%
0.0%
7.4%
3.6%
0.0%
男性
女性

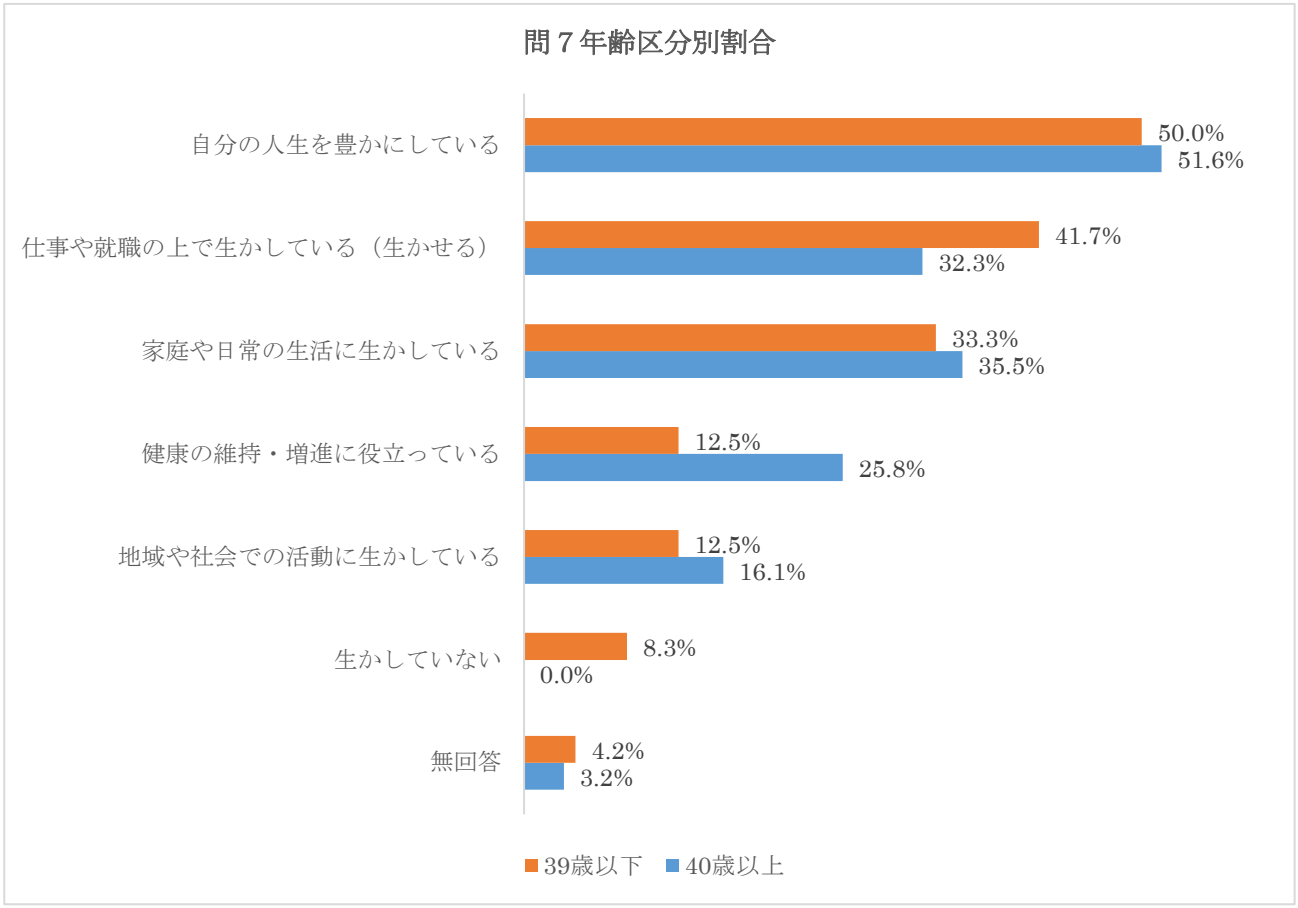

問６年齢区分別割合
教養を深めるため
人生を豊かにするため
現在の、または当時就いていた仕事において必要性を感じたため
家庭や日常生活に生かすため
他の人と親睦を深めたり、友人を得たりするため
健康の維持・増進のため
勤務先などから勧められたため
地域や社会の活動に生かすため
新しく就職したり、転職したりするために必要性を感じたため
その他
特にない
62.5%
35.5%
33.3%
45.2%
37.5%
29.0%
20.8%
35.5%
20.8%
22.6%
16.7%
22.6%
16.7%
9.7%
12.5%
9.7%
12.5%
3.2%
4.2%
3.2%
0.0%
3.2%
39歳以下
40歳以上

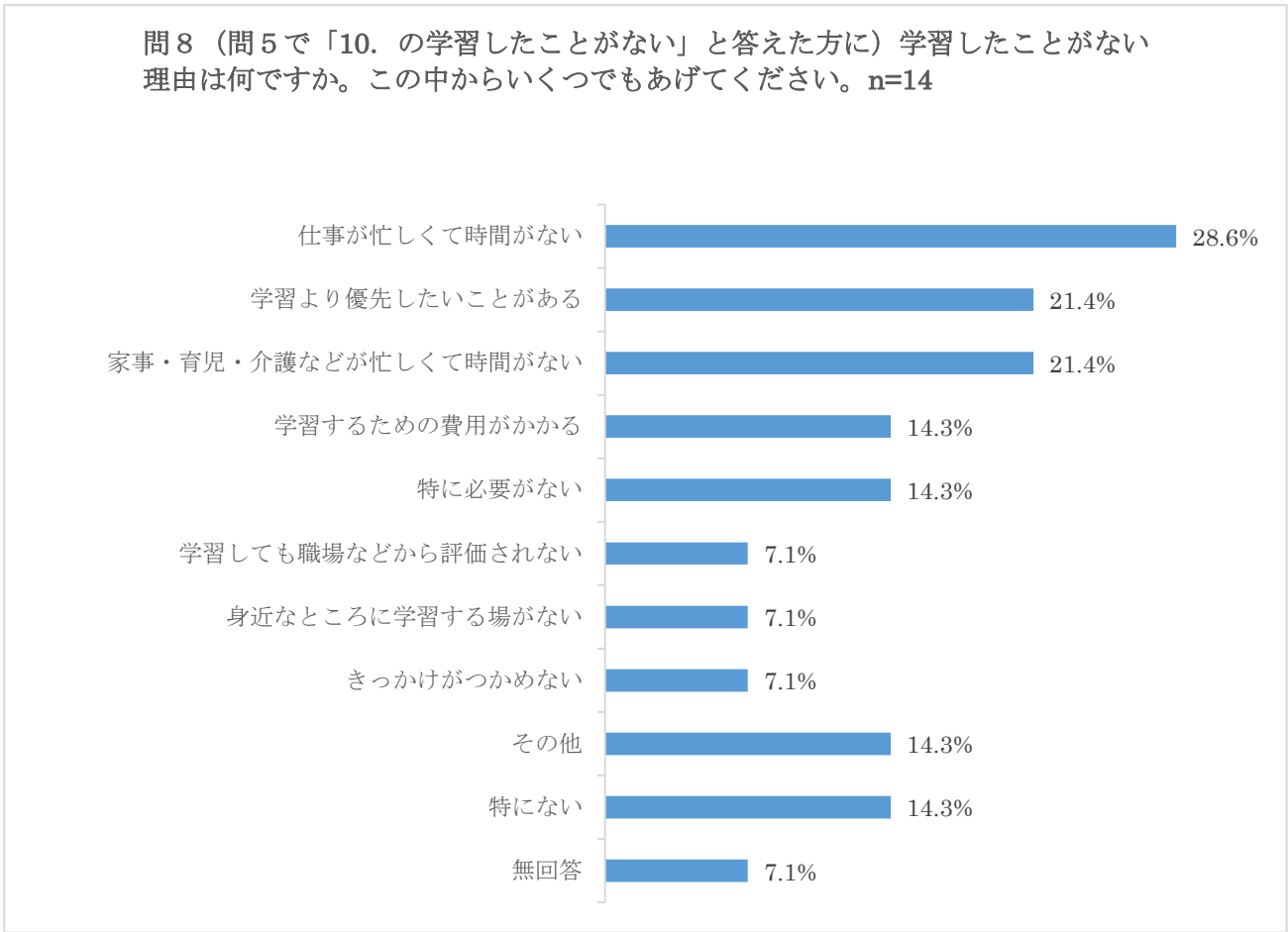
問７（問５で「１．～９．の学習したことがある」と答えた方に）学習した成果はどのように生かしていますか。あるいは生かせると思いますか。この中からいくつでもあげてください。n=55



問７男女別割合



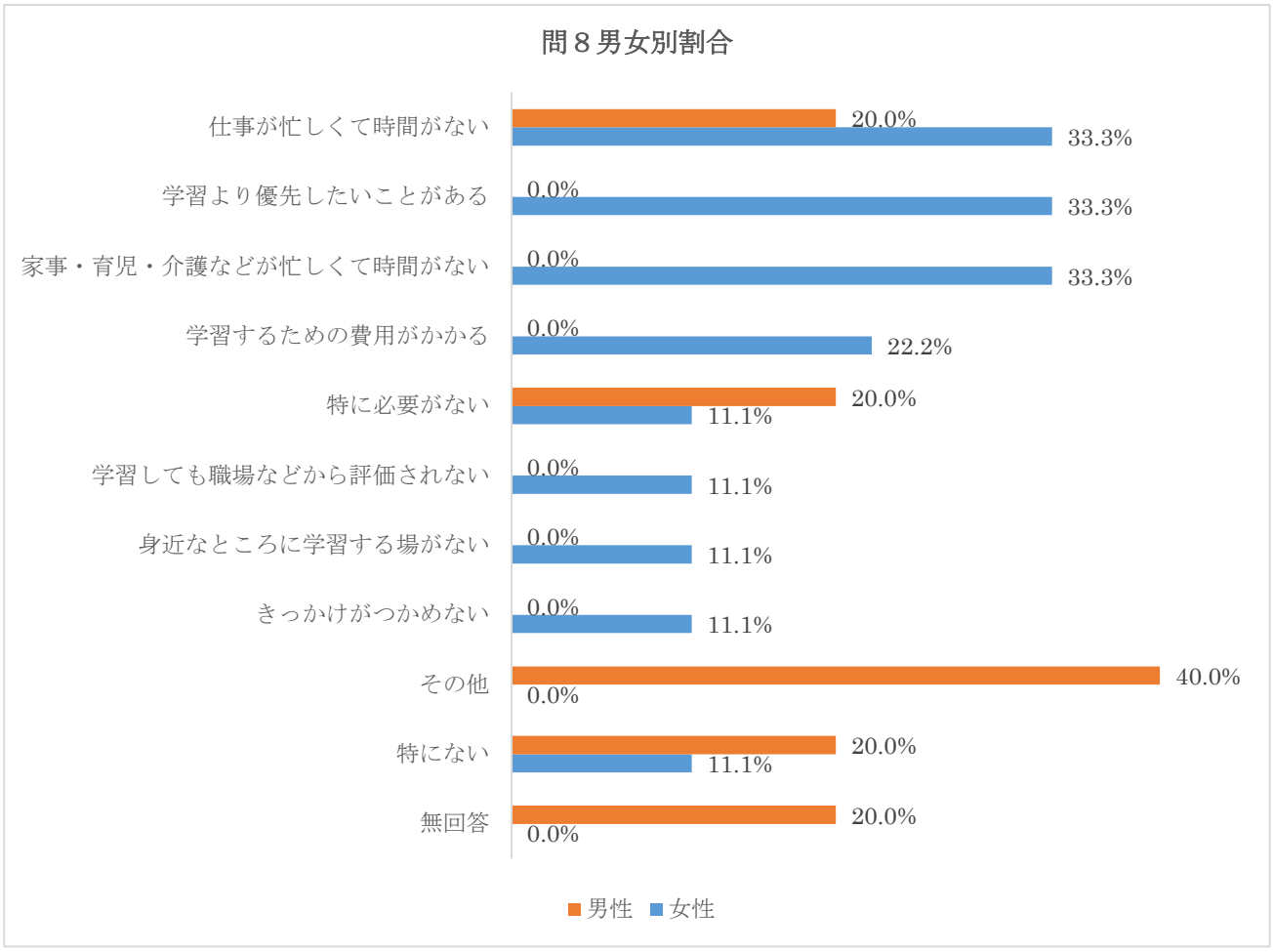


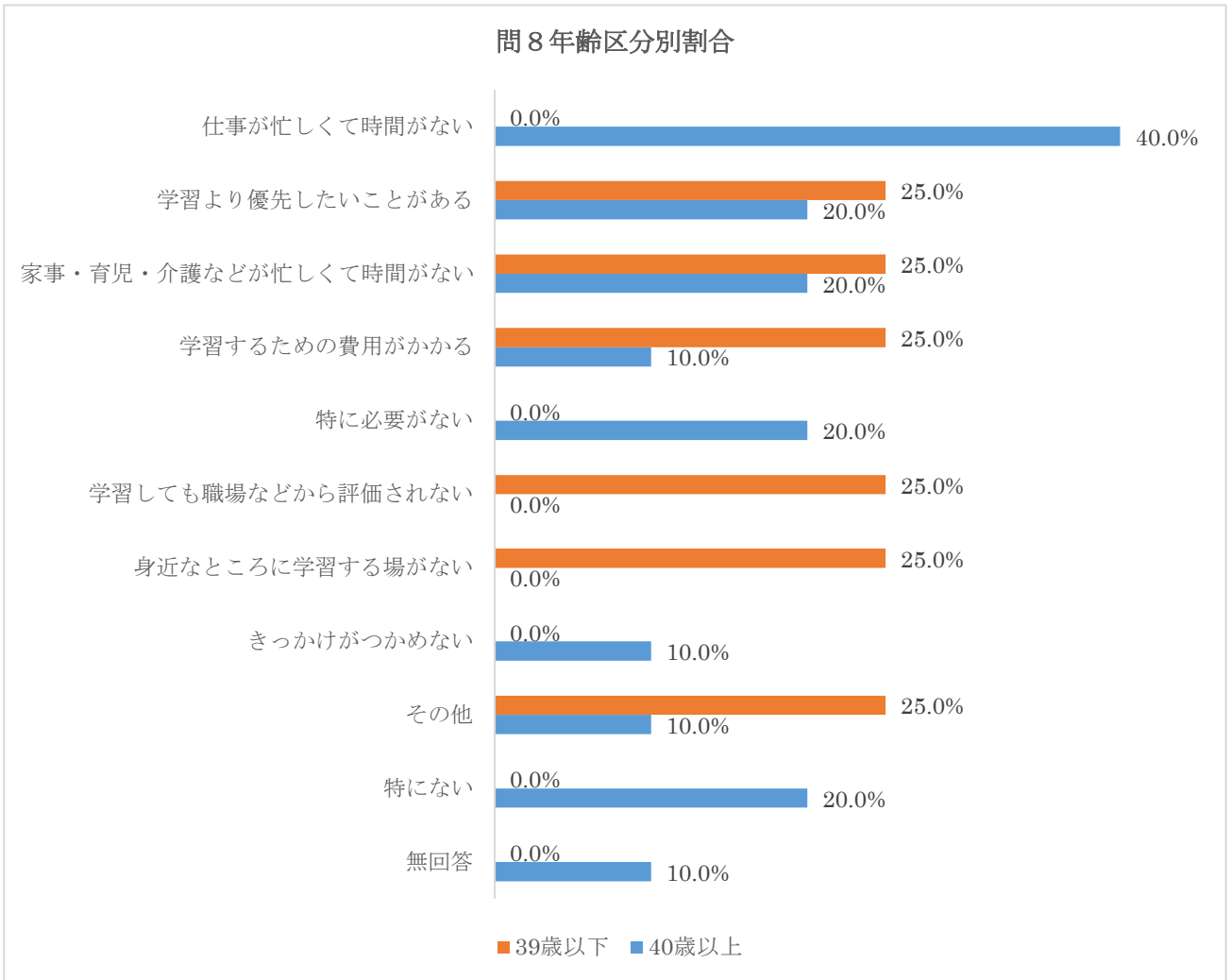


その他

・学習ではないが常に情報収集はしている（男 40 代）

・受験で忙しい（女 10 代）

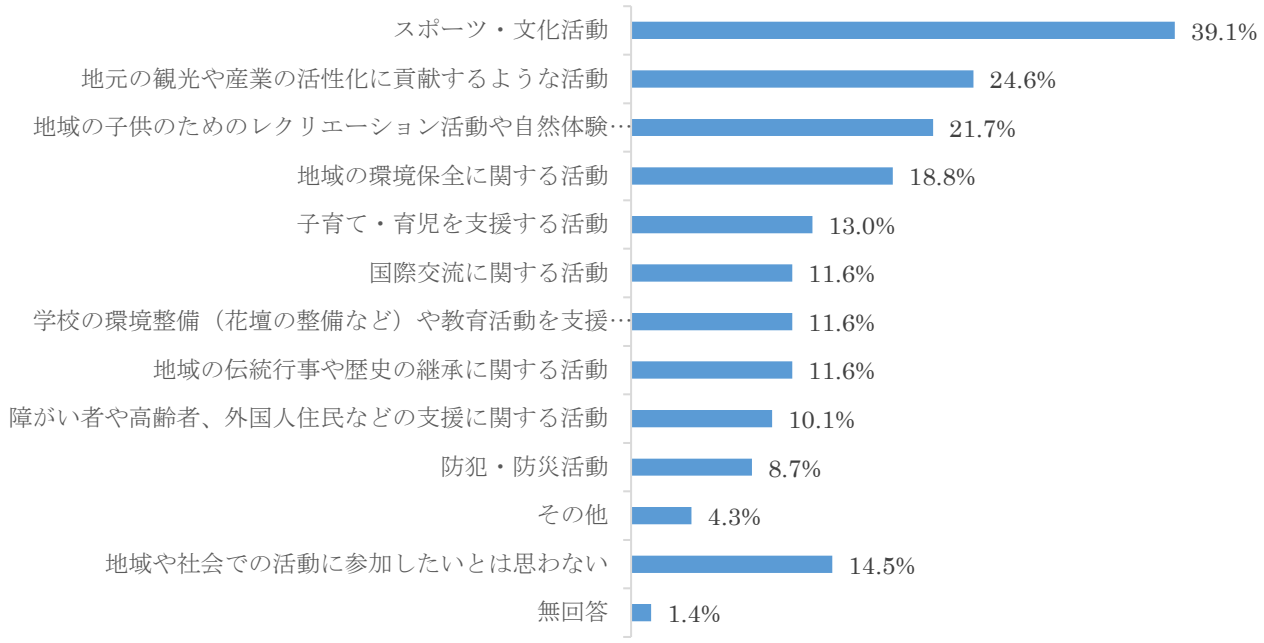

問８男女別割合
仕事が忙しくて時間がない
学習より優先したいことがある
家事・育児・介護などが忙しくて時間がない
学習するための費用がかかる
特に必要がない
学習しても職場などから評価されない
身近なところに学習する場がない
きっかけがつかめない
その他
特にない
無回答
20.0%
33.3%
0.0%
33.3%
0.0%
33.3%
0.0%
22.2%
20.0%
11.1%
0.0%
11.1%
0.0%
11.1%
0.0%
11.1%
40.0%
0.0%
20.0%
11.1%
20.0%
0.0%
男性
女性


問８年齢区分別割合
仕事が忙しくて時間がない
学習より優先したいことがある
家事・育児・介護などが忙しくて時間がない
学習するための費用がかかる
特に必要がない
学習しても職場などから評価されない
身近なところに学習する場がない
きっかけがつかめない
その他
特にない
無回答
0.0%
40.0%
25.0%
20.0%
25.0%
20.0%
25.0%
10.0%
0.0%
20.0%
25.0%
0.0%
25.0%
0.0%
0.0%
10.0%
25.0%
10.0%
0.0%
20.0%
0.0%
10.0%
39歳以下
40歳以上

3　地域・社会活動について（意識）

あなた自身の地域や社会での活動についてお聞きします。

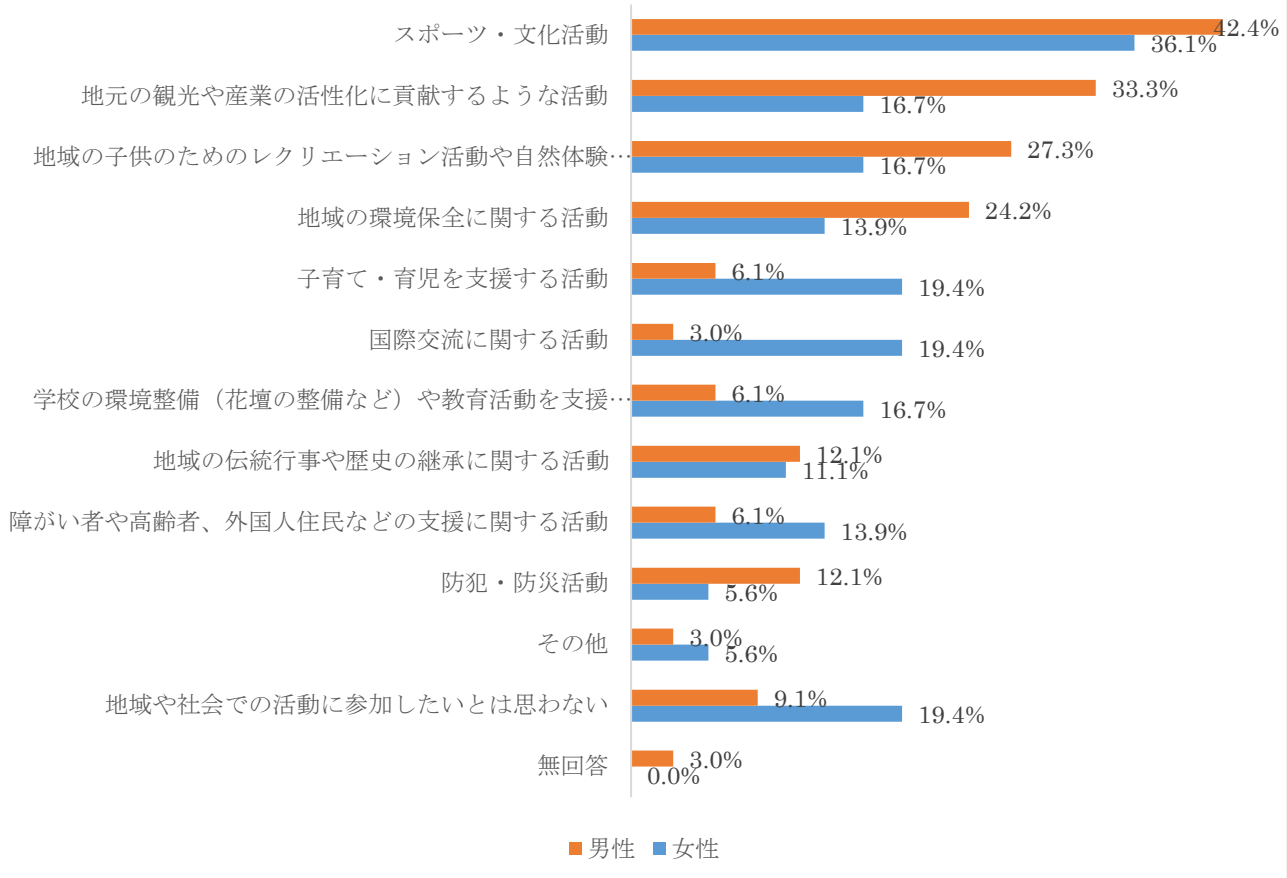
問９あなたは、地域や社会でどのような活動に参加してみたいと思いますか。この中からいくつでもあげてください。n=69

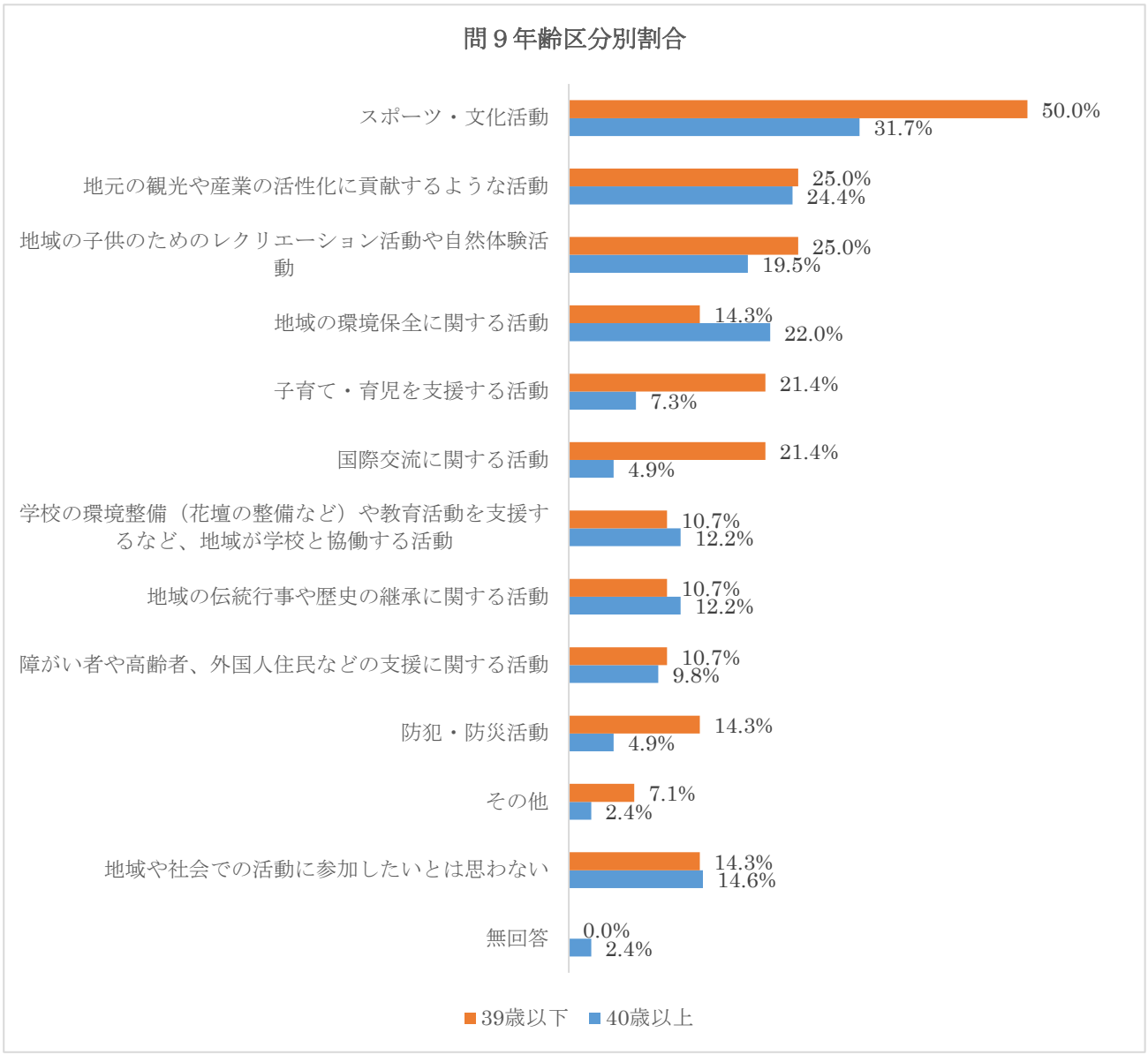


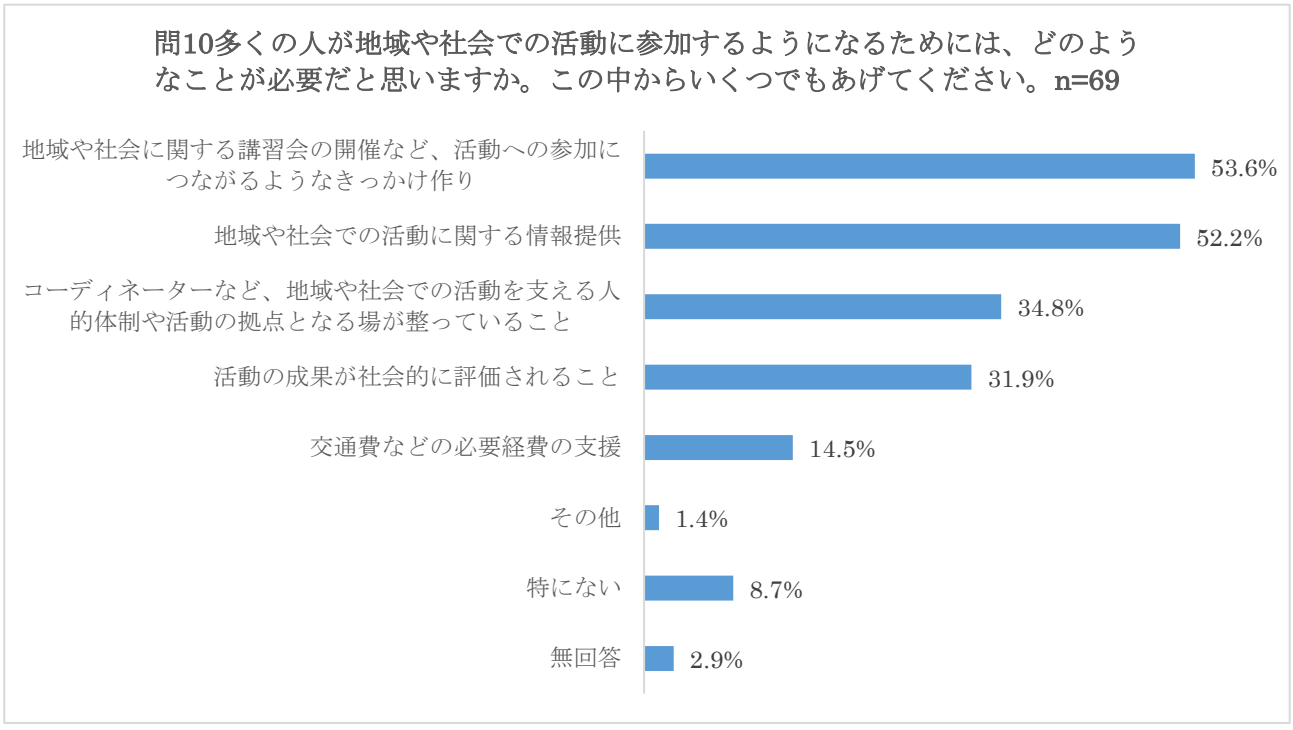
その他

・子育て中は良会合など出席しました終わると出無精です（女 60 代）
・町に現在在宅していないため参加できません（女 10 代）
・今は忙しくて思えない（女 10 代）

問９男女別割合

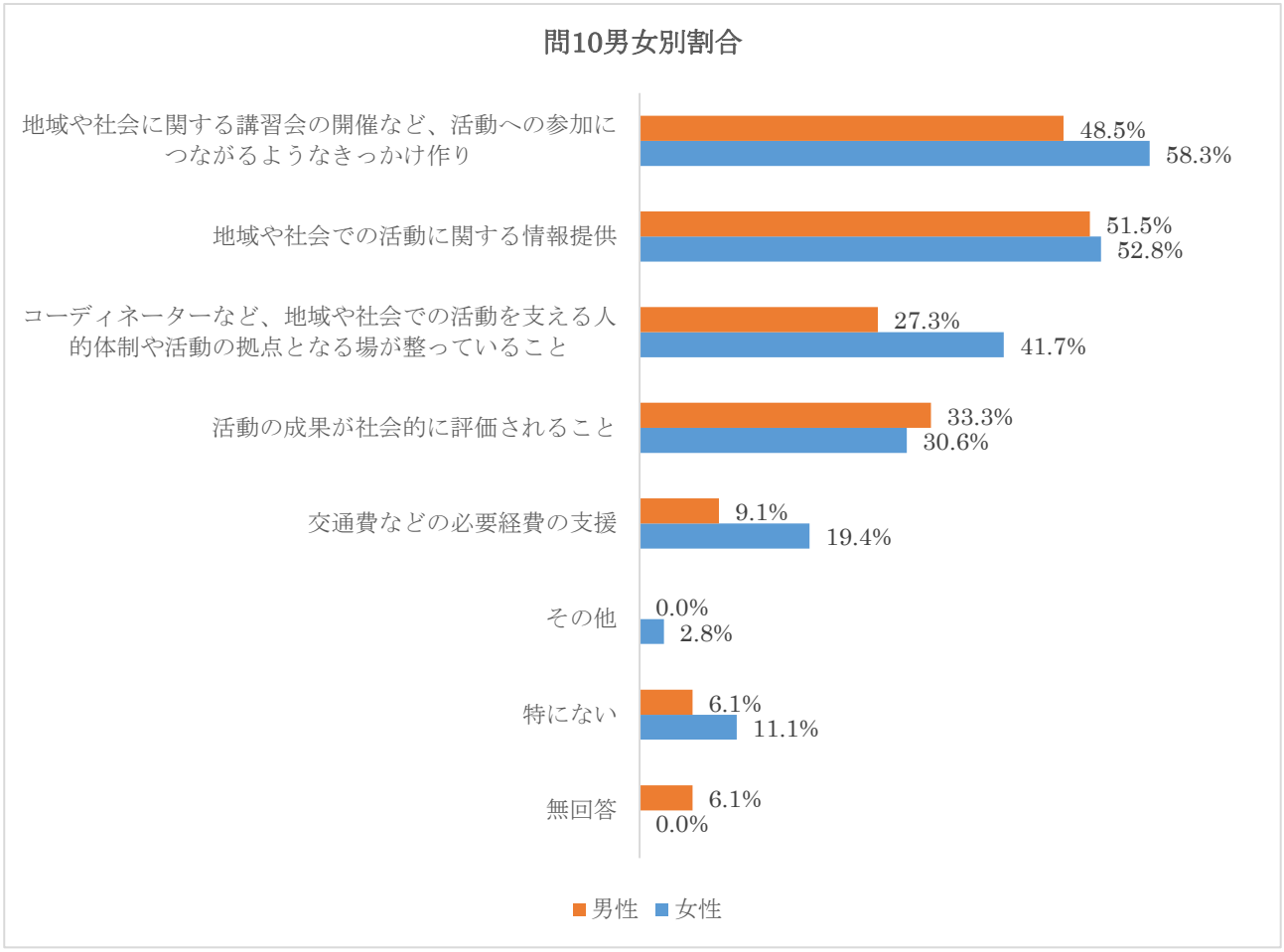


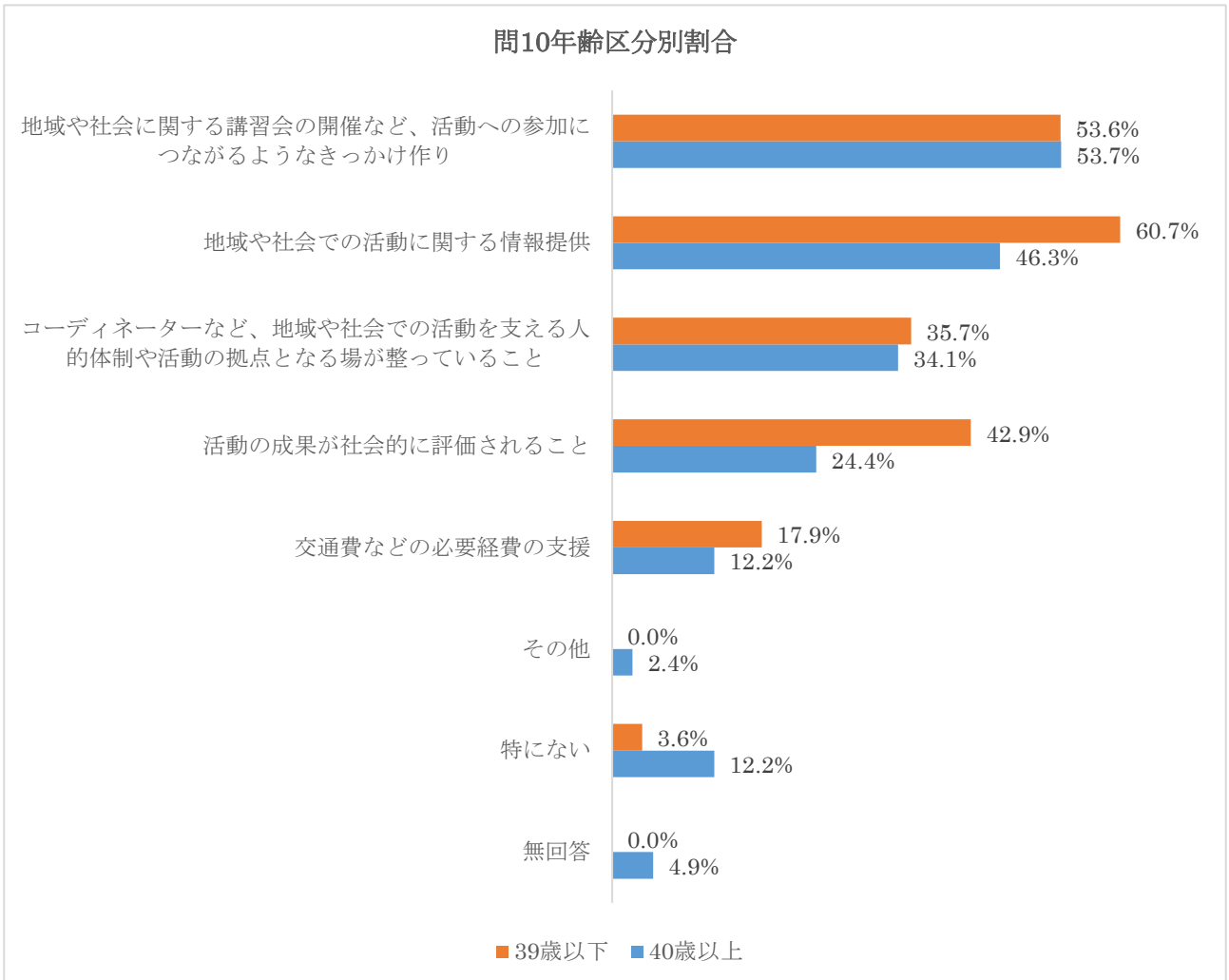

問９年齢区分別割合
スポーツ・文化活動
50.0%
31.7%
地元の観光や産業の活性化に貢献するような活動
25.0%
24.4%
地域の子供のためのレクリエーション活動や自然体験活動
25.0%
19.5%
地域の環境保全に関する活動
14.3%
22.0%
子育て・育児を支援する活動
21.4%
7.3%
国際交流に関する活動
21.4%
4.9%
学校の環境整備（花壇の整備など）や教育活動を支援するなど、地域が学校と協働する活動
10.7%
12.2%
地域の伝統行事や歴史の継承に関する活動
10.7%
12.2%
障がい者や高齢者、外国人住民などの支援に関する活動
10.7%
9.8%
防犯・防災活動
14.3%
4.9%
その他
7.1%
2.4%
地域や社会での活動に参加したいとは思わない
14.3%
14.6%
無回答
0.0%
2.4%
39歳以下
40歳以上


問10多くの人が地域や社会での活動に参加するようになるためには、どのようなことが必要だと思いますか。この中からいくつでもあげてください。n=69
地域や社会に関する講習会の開催など、活動への参加につながるようなきっかけ作り
53.6%
地域や社会での活動に関する情報提供
52.2%
コーディネーターなど、地域や社会での活動を支える人的体制や活動の拠点となる場が整っていること
34.8%
活動の成果が社会的に評価されること
31.9%
交通費などの必要経費の支援
14.5%
その他
1.4%
特にない
8.7%
無回答
2.9%

その他

・ヤル気（女 40 代）

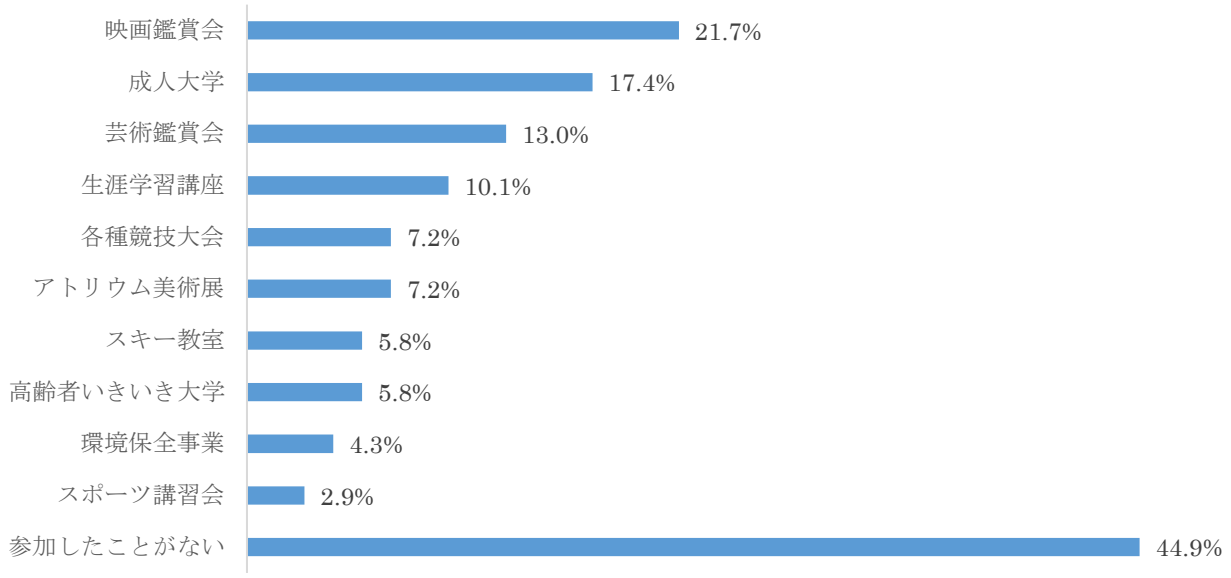

問10男女別割合
地域や社会に関する講習会の開催など、活動への参加につながるようなきっかけ作り
48.5%
58.3%
地域や社会での活動に関する情報提供
51.5%
52.8%
コーディネーターなど、地域や社会での活動を支える人的体制や活動の拠点となる場が整っていること
27.3%
41.7%
活動の成果が社会的に評価されること
33.3%
30.6%
交通費などの必要経費の支援
9.1%
19.4%
その他
0.0%
2.8%
特にない
6.1%
11.1%
無回答
6.1%
0.0%
男性
女性


問10年齢区分別割合
地域や社会に関する講習会の開催など、活動への参加につながるようなきっかけ作り
53.6%
53.7%
地域や社会での活動に関する情報提供
60.7%
46.3%
コーディネーターなど、地域や社会での活動を支える人的体制や活動の拠点となる場が整っていること
35.7%
34.1%
活動の成果が社会的に評価されること
42.9%
24.4%
交通費などの必要経費の支援
17.9%
12.2%
その他
0.0%
2.4%
特にない
3.6%
12.2%
無回答
0.0%
4.9%
39歳以下
40歳以上

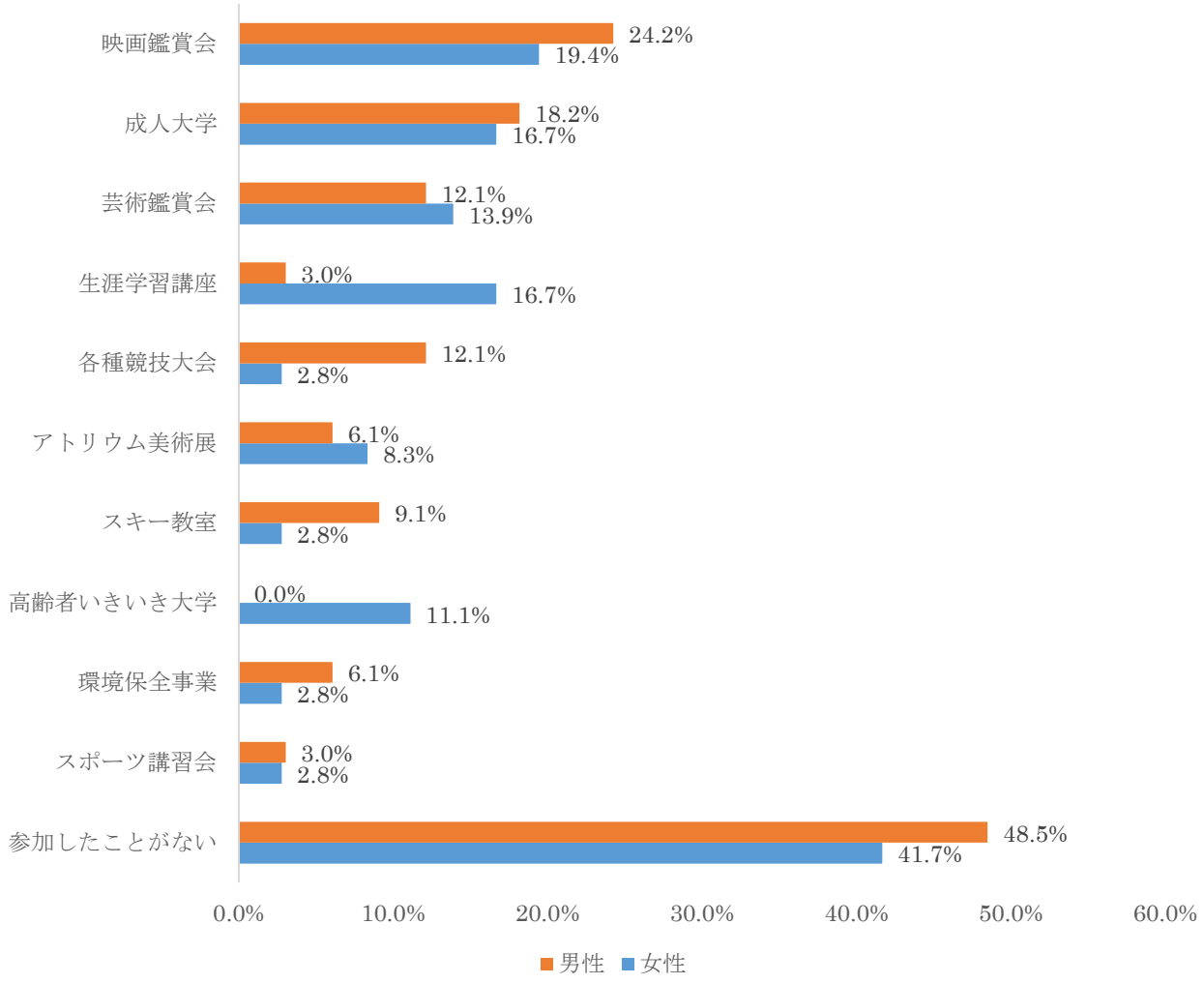
4　幌加内町の社会教育事業について（実態）

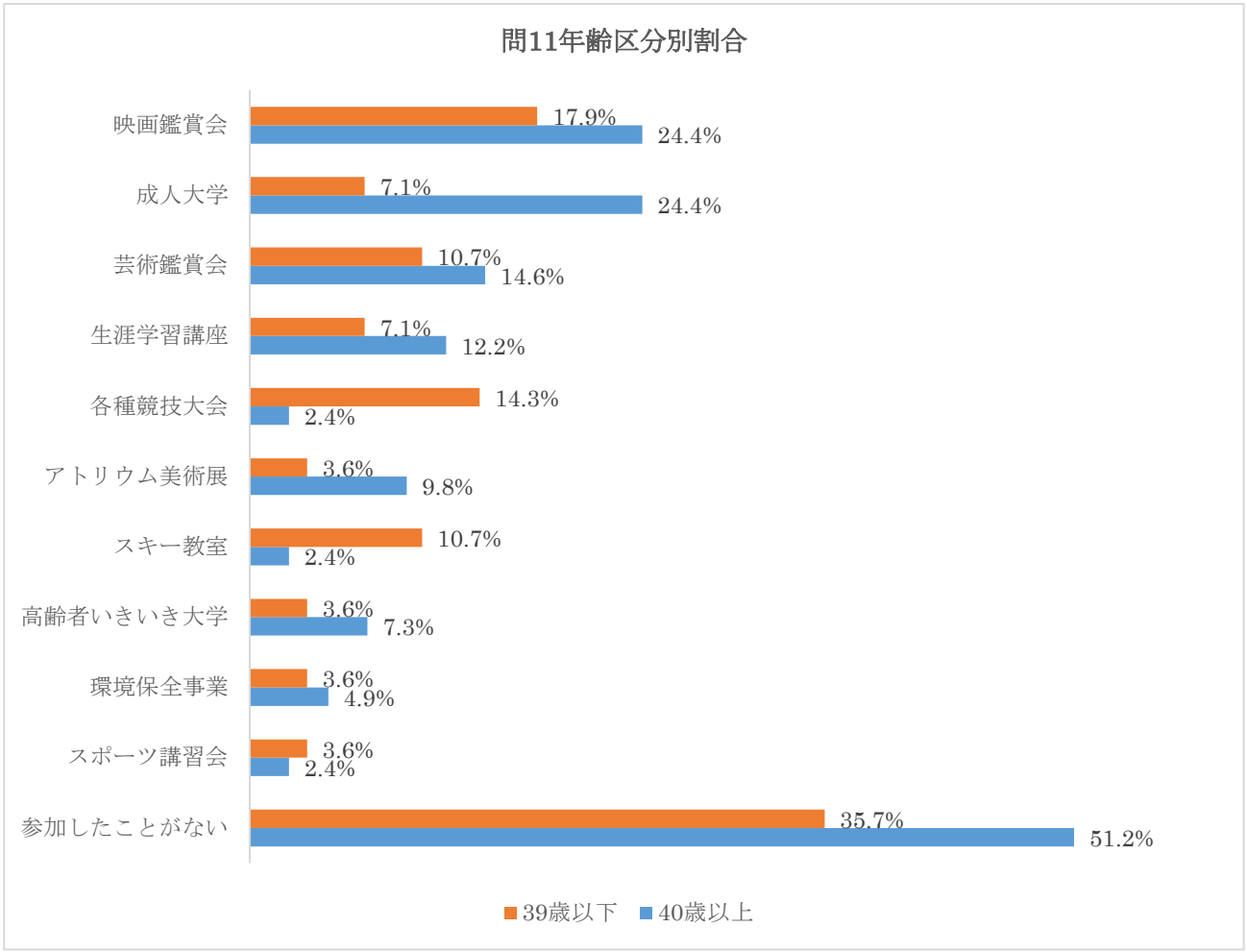
幌加内町の社会教育事業についてお聞きします。

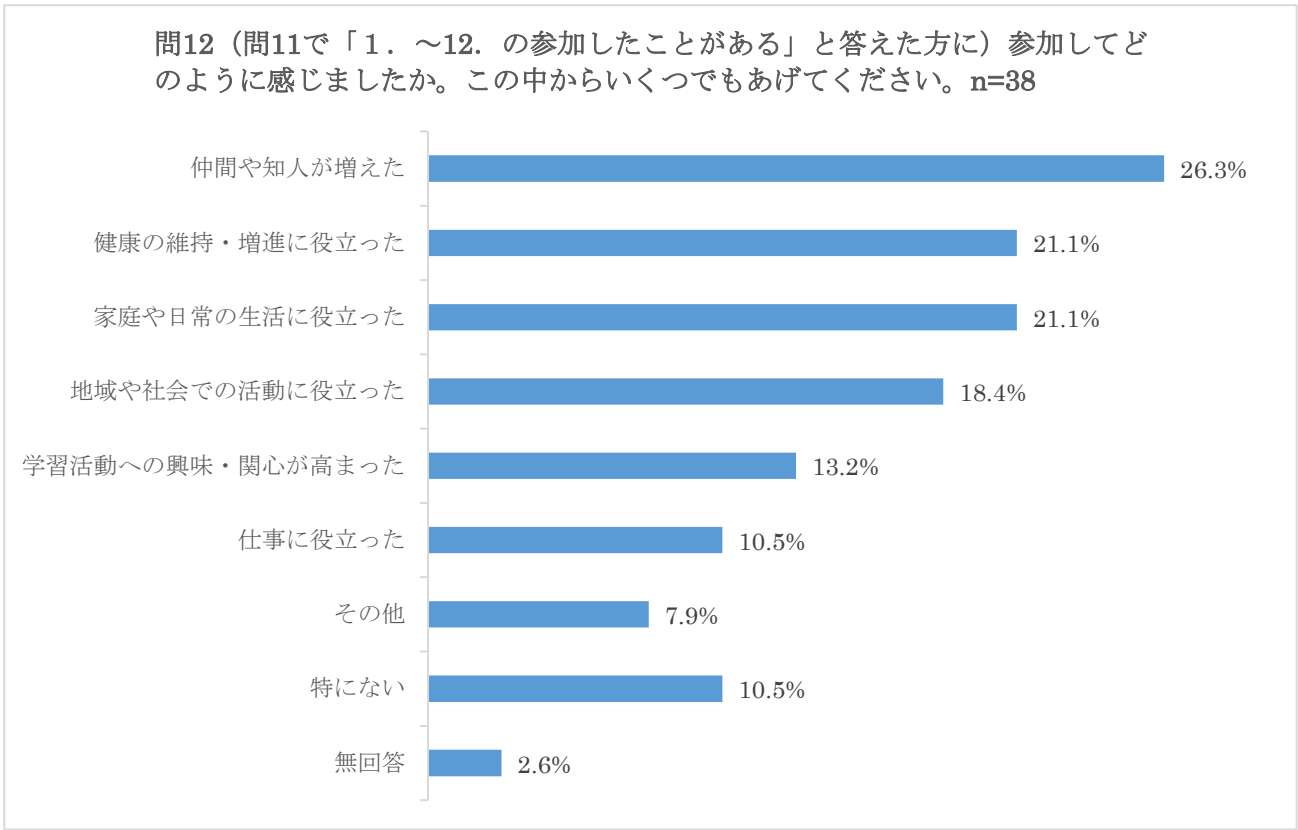
問11あなたは、この２年間くらいの間に、幌加内町教育委員会等が実施した社会教育事業に参加したことがありますか。この中からいくつでもあげてください。n=69



問11男女別割合

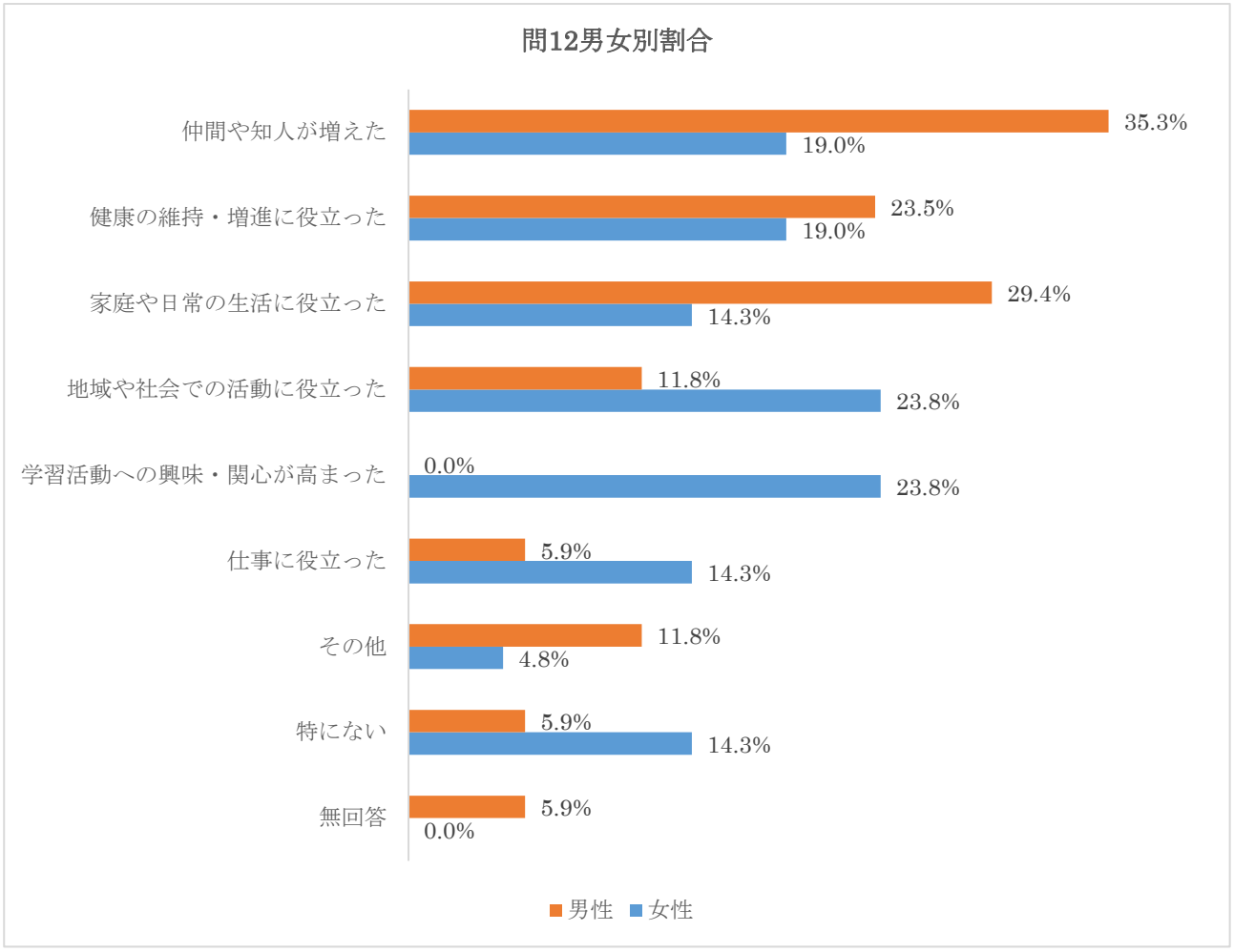


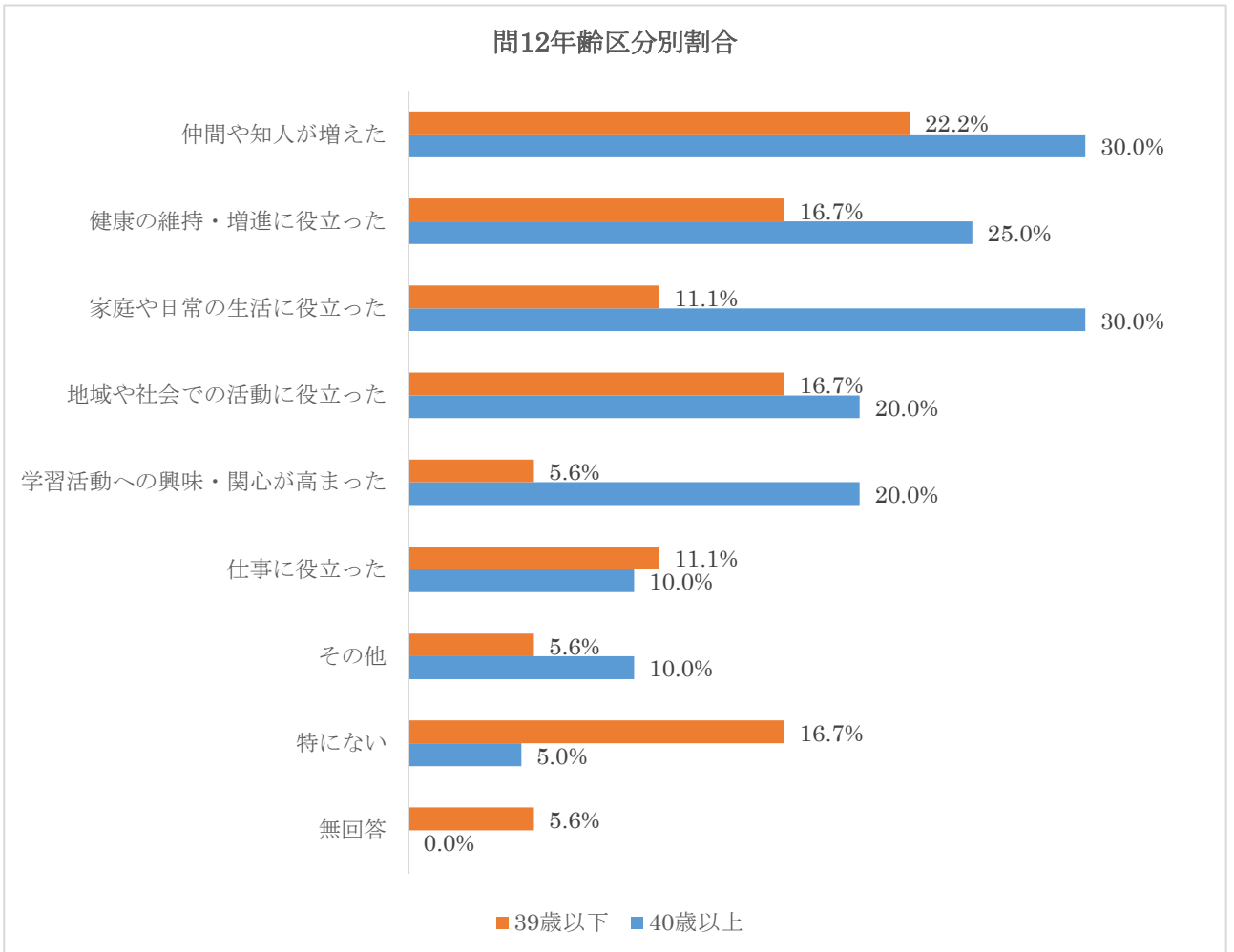




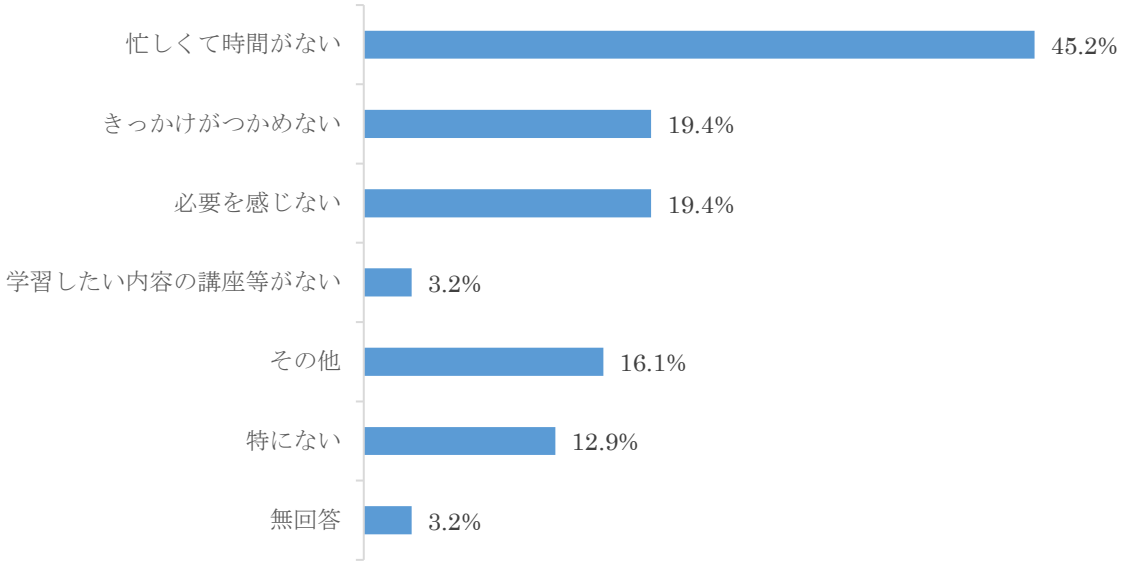
その他

・人格の形成、知識の増進（男 70 代）
・活動内容が面白かった。（女 30 代）
・子供達の笑顔に元気をいただいて（男 60 代）

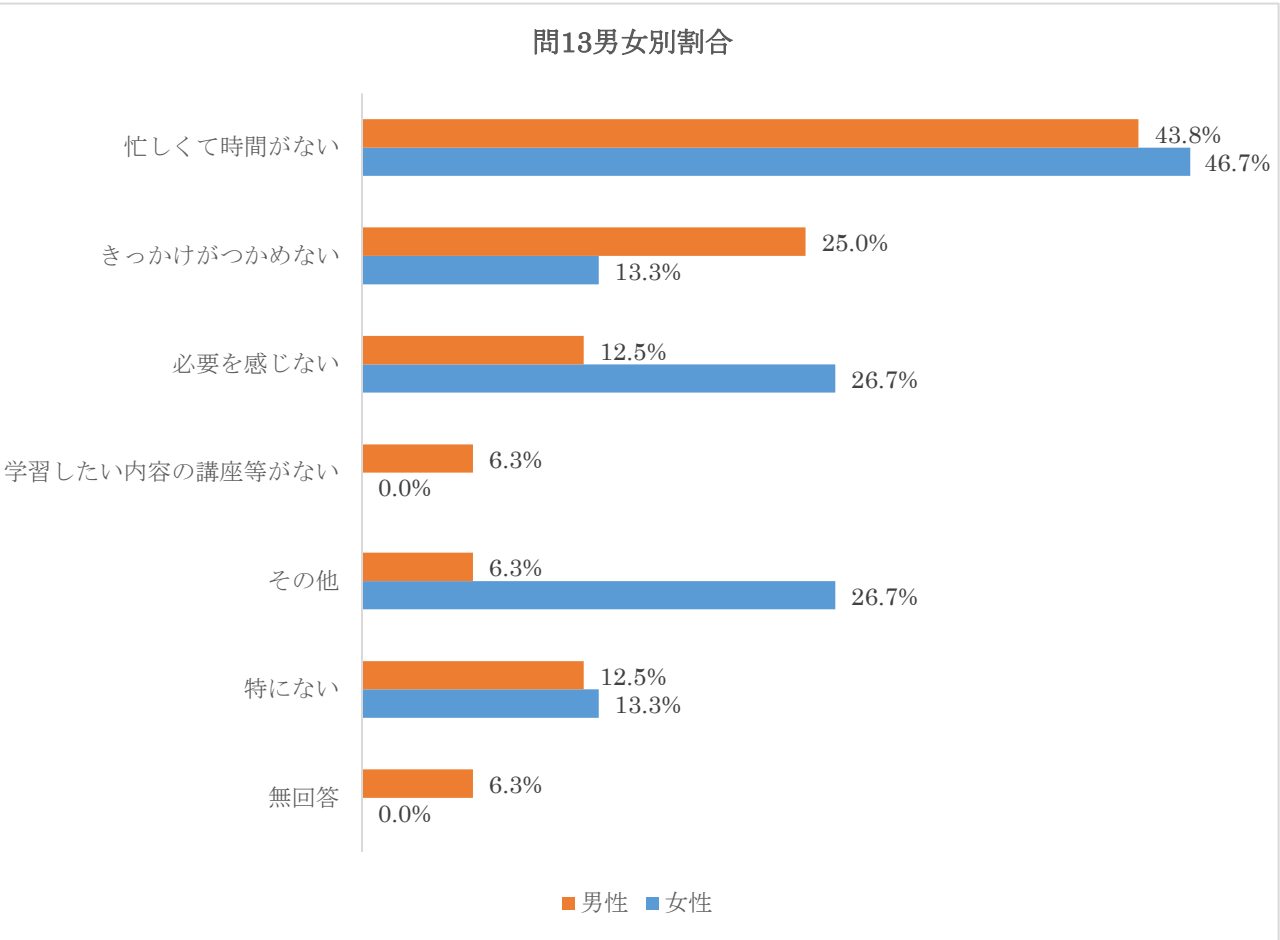

問12男女別割合
仲間や知人が増えた
健康の維持・増進に役立った
家庭や日常の生活に役立った
地域や社会での活動に役立った
学習活動への興味・関心が高まった
仕事に役立った
その他
特にない
無回答
35.3%
19.0%
23.5%
19.0%
29.4%
14.3%
11.8%
23.8%
0.0%
23.8%
5.9%
14.3%
11.8%
4.8%
5.9%
14.3%
5.9%
0.0%
男性
女性

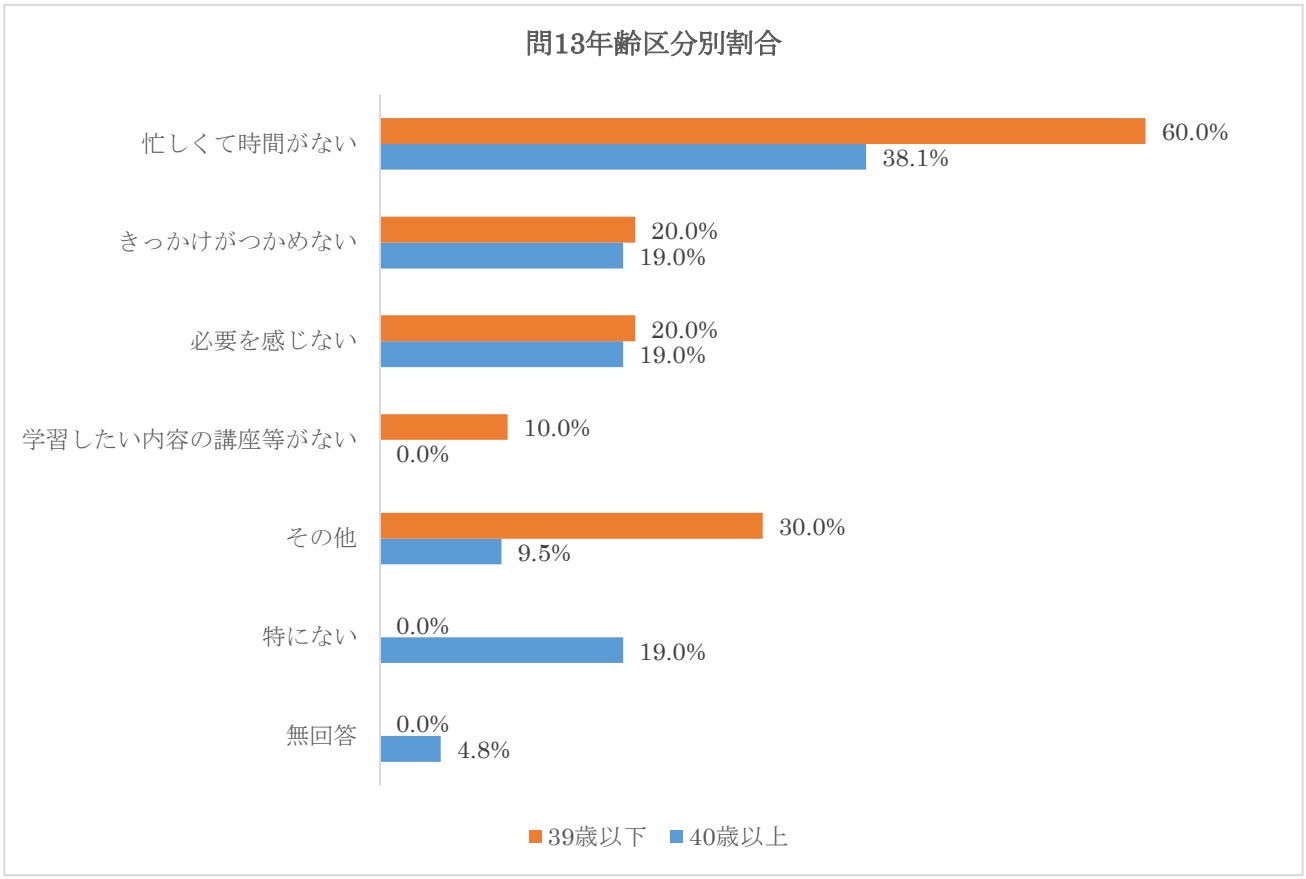

問12年齢区分別割合
仲間や知人が増えた
健康の維持・増進に役立った
家庭や日常の生活に役立った
地域や社会での活動に役立った
学習活動への興味・関心が高まった
仕事に役立った
その他
特にない
無回答
22.2%
30.0%
16.7%
25.0%
11.1%
30.0%
16.7%
20.0%
5.6%
20.0%
11.1%
10.0%
5.6%
10.0%
16.7%
5.0%
5.6%
0.0%
39歳以下
40歳以上

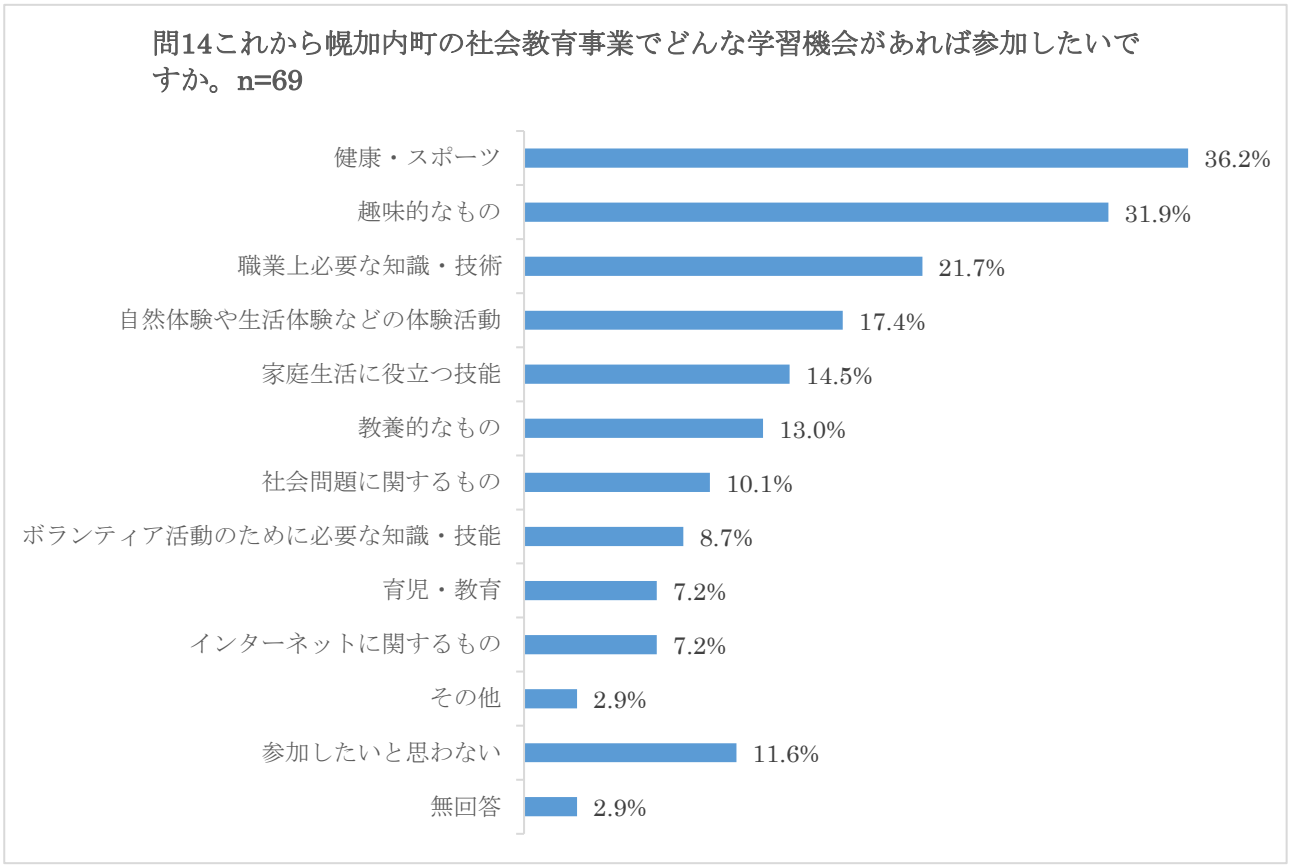
問13（問11で「問13. の参加したことがない」と答えた方に）参加したことがない理由はなにですか。この中からいくつでもあげてください。n=31



その他
・出無精です（女 60 代）
・道外に住んでいる（女 10 代）
・現在学校に通っていて地元には居ないため（女 10 代）
・町外に下宿のため（女 10 代）
・住んでなかった（男 50 代）



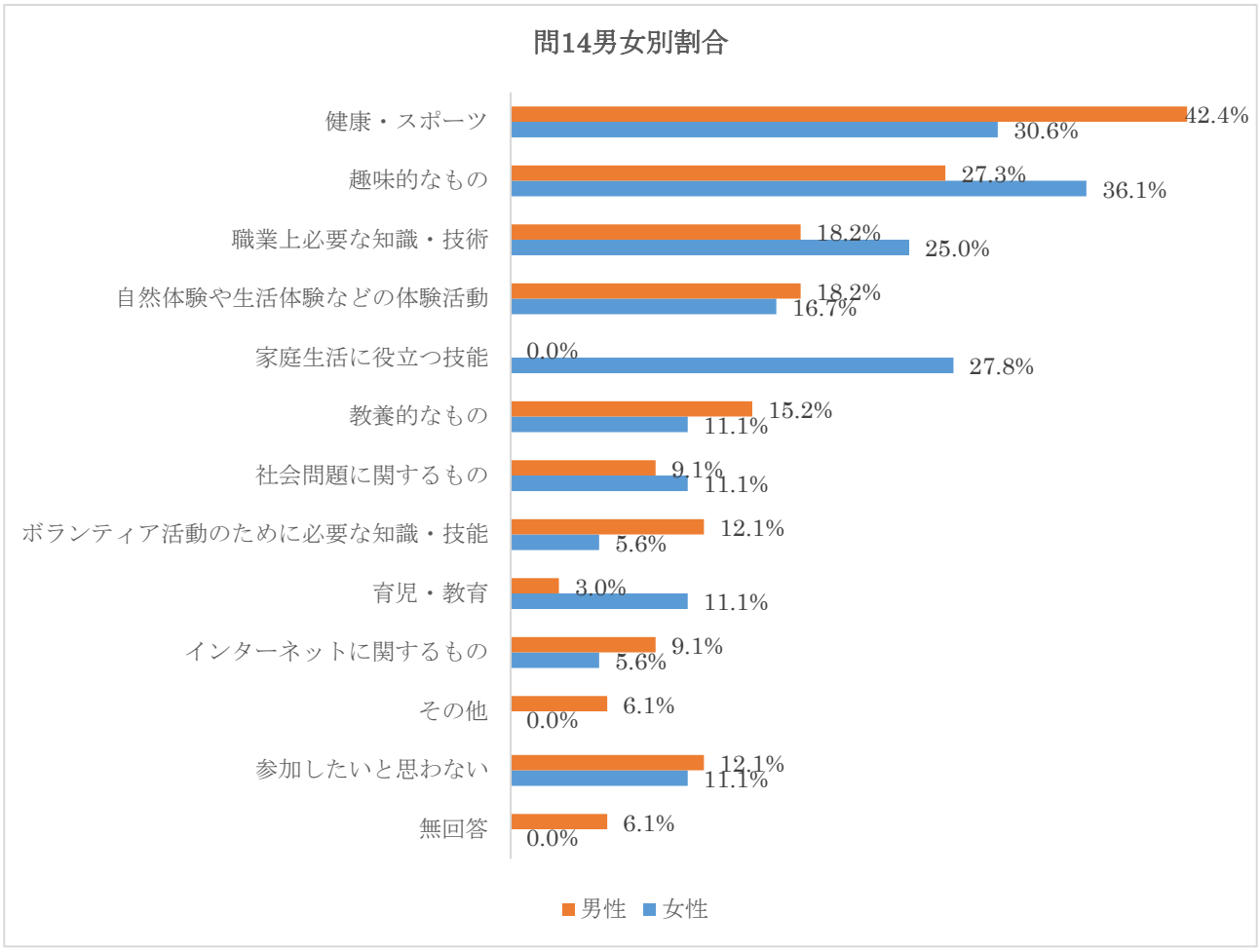


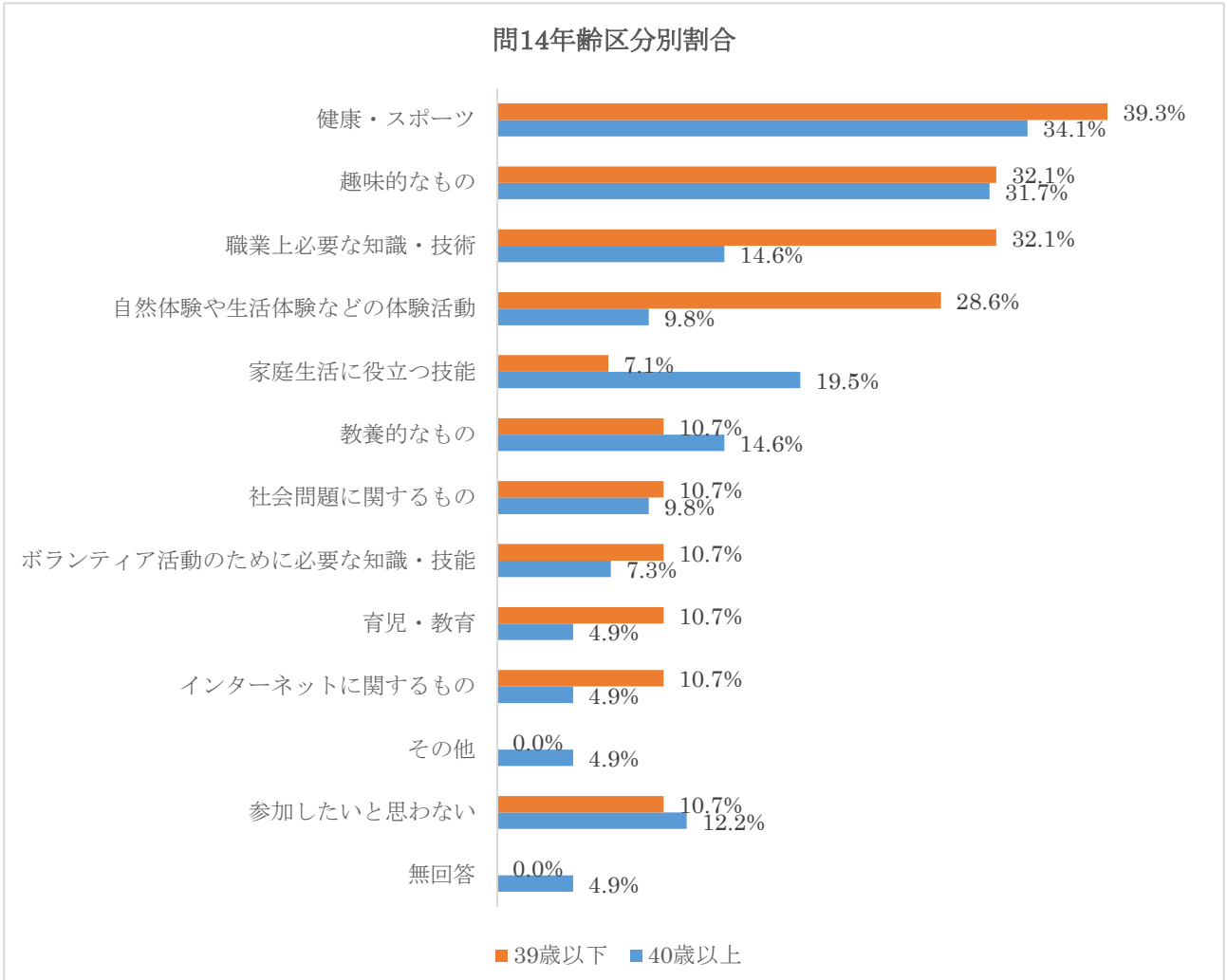


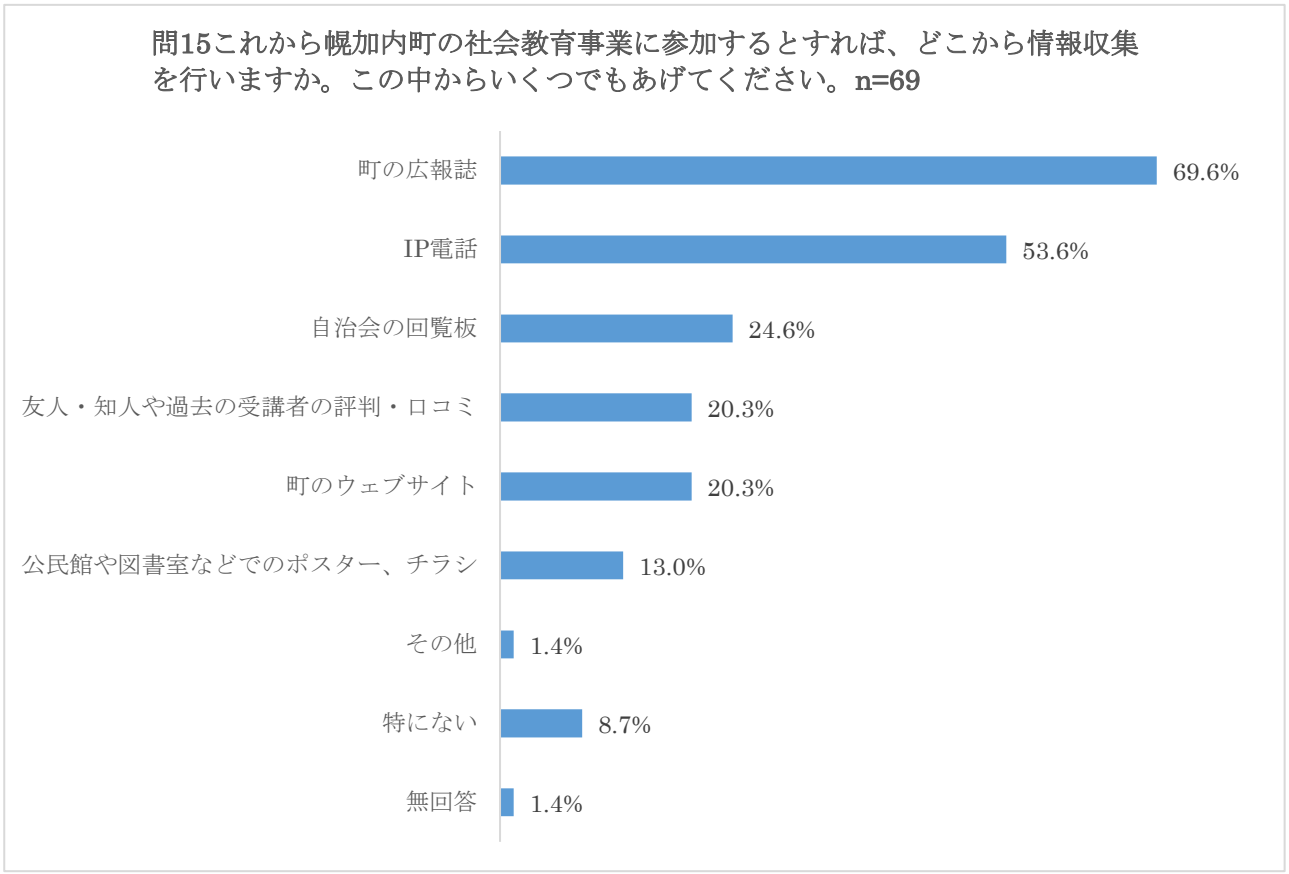
その他

・町民運動会をしてほしい（男 40 代）

・冬季間にしか運動できないので、温水プールがほしかった。プール歩きがしたかった。旅行して歩くようになって、いろいろな地域のプールで、お世話になりましたが、大ぜいの人が、プールで歩いていて、いきいきとされている。高齢者でも、カッコよく、お泳いでおられてていて、すばらしいです。（女 60 代）

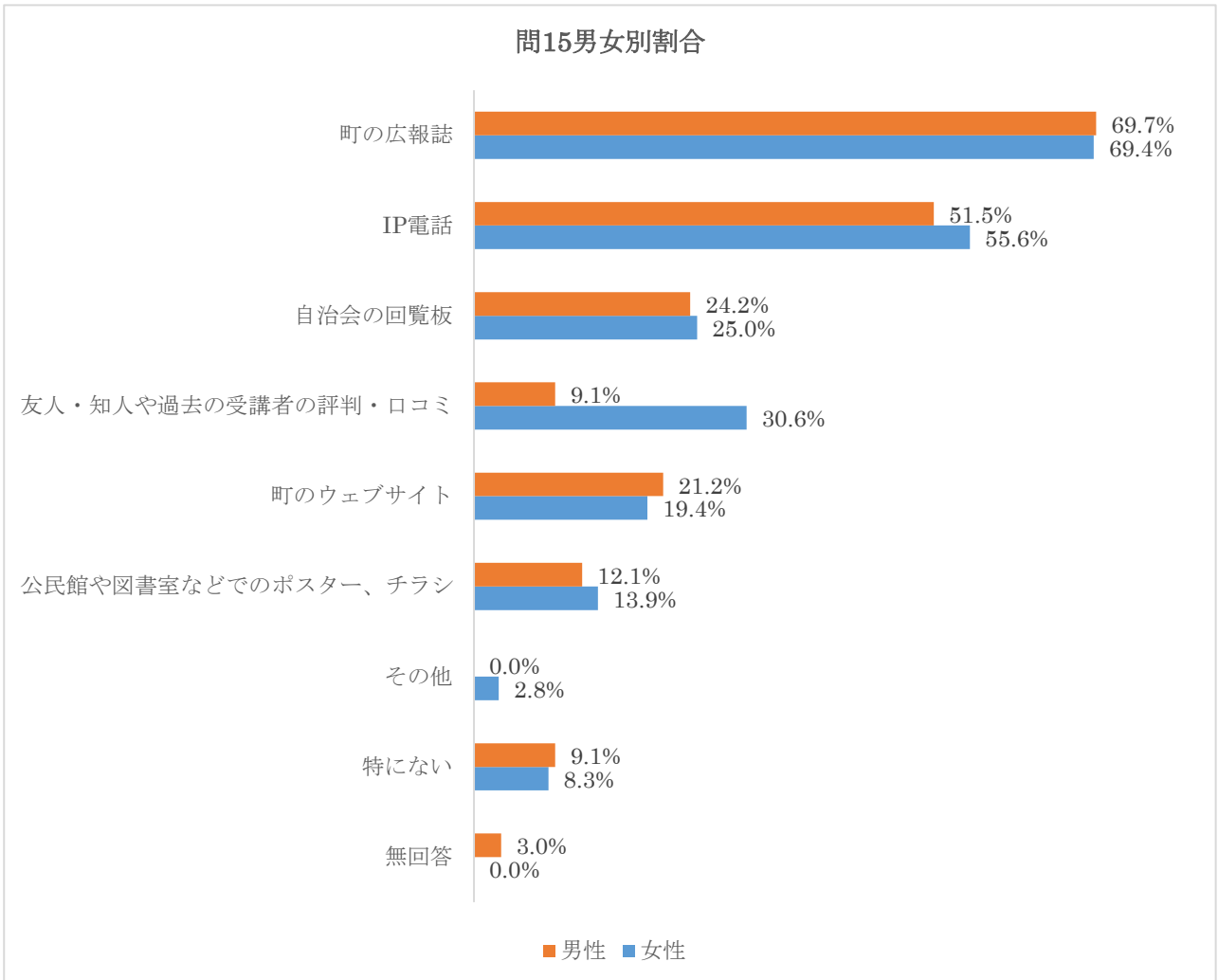

問14男女別割合
健康・スポーツ
趣味的なもの
職業上必要な知識・技術
自然体験や生活体験などの体験活動
家庭生活に役立つ技能
教養的なもの
社会問題に関するもの
ボランティア活動のために必要な知識・技能
育児・教育
インターネットに関するもの
その他
参加したいと思わない
無回答
42.4%
30.6%
27.3%
36.1%
18.2%
25.0%
18.2%
16.7%
0.0%
27.8%
15.2%
11.1%
9.1%
11.1%
12.1%
5.6%
3.0%
11.1%
9.1%
5.6%
6.1%
0.0%
12.1%
11.1%
6.1%
0.0%
男性
女性

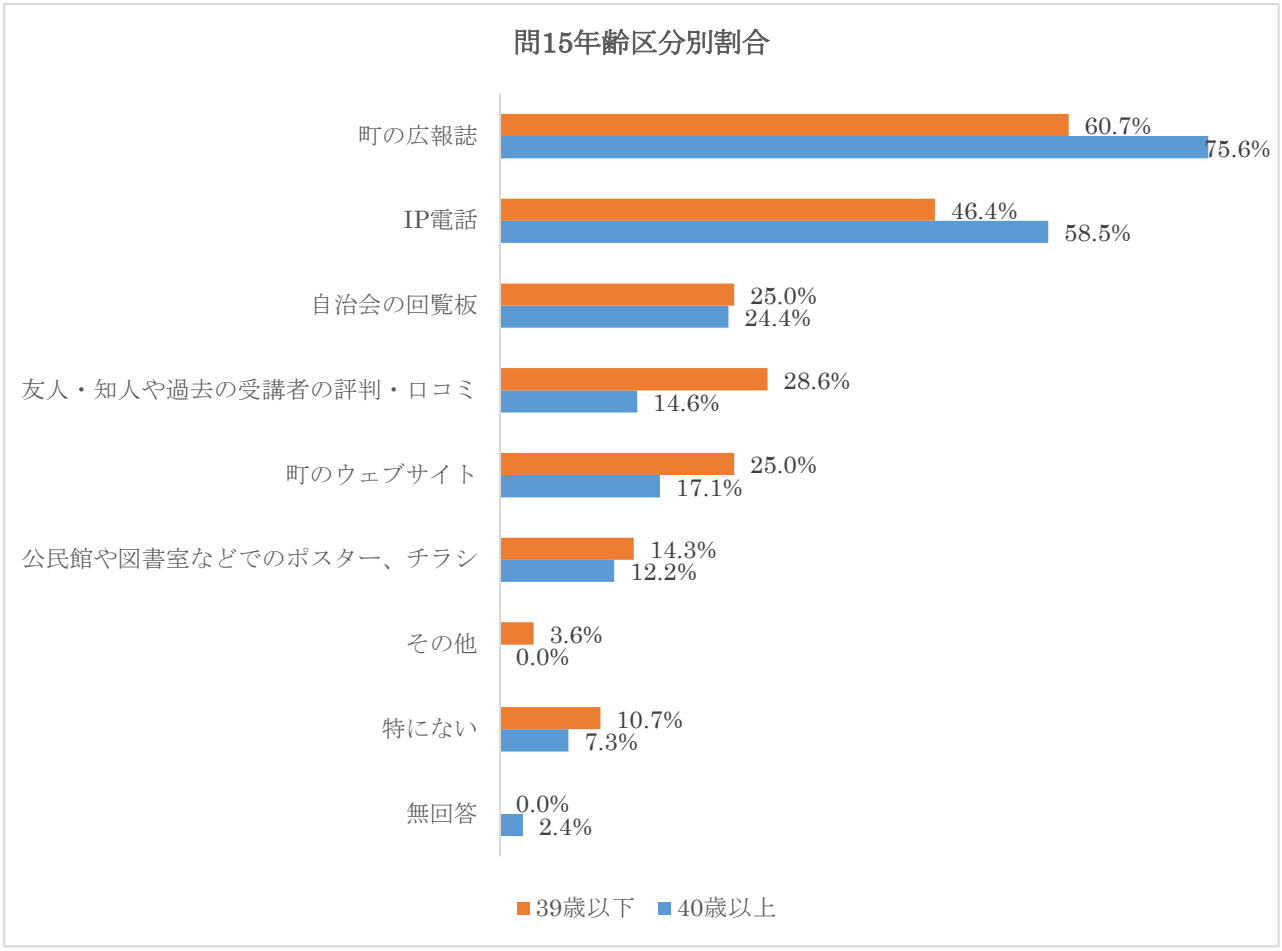

問14年齢区分別割合
健康・スポーツ
趣味的なもの
職業上必要な知識・技術
自然体験や生活体験などの体験活動
家庭生活に役立つ技能
教養的なもの
社会問題に関するもの
ボランティア活動のために必要な知識・技能
育児・教育
インターネットに関するもの
その他
参加したいと思わない
無回答
39.3%
34.1%
32.1%
31.7%
32.1%
14.6%
28.6%
9.8%
7.1%
19.5%
10.7%
14.6%
10.7%
9.8%
10.7%
7.3%
10.7%
4.9%
10.7%
4.9%
0.0%
4.9%
10.7%
12.2%
0.0%
4.9%
39歳以下
40歳以上


問15これから幌加内町の社会教育事業に参加するとすれば、どこから情報収集を行いますか。この中からいくつでもあげてください。n=69
町の広報誌
69.6%
IP電話
53.6%
自治会の回覧板
24.6%
友人・知人や過去の受講者の評判・口コミ
20.3%
町のウェブサイト
20.3%
公民館や図書室などでのポスター、チラシ
13.0%
その他
1.4%
特にない
8.7%
無回答
1.4%

その他

・家族（女 10 代）

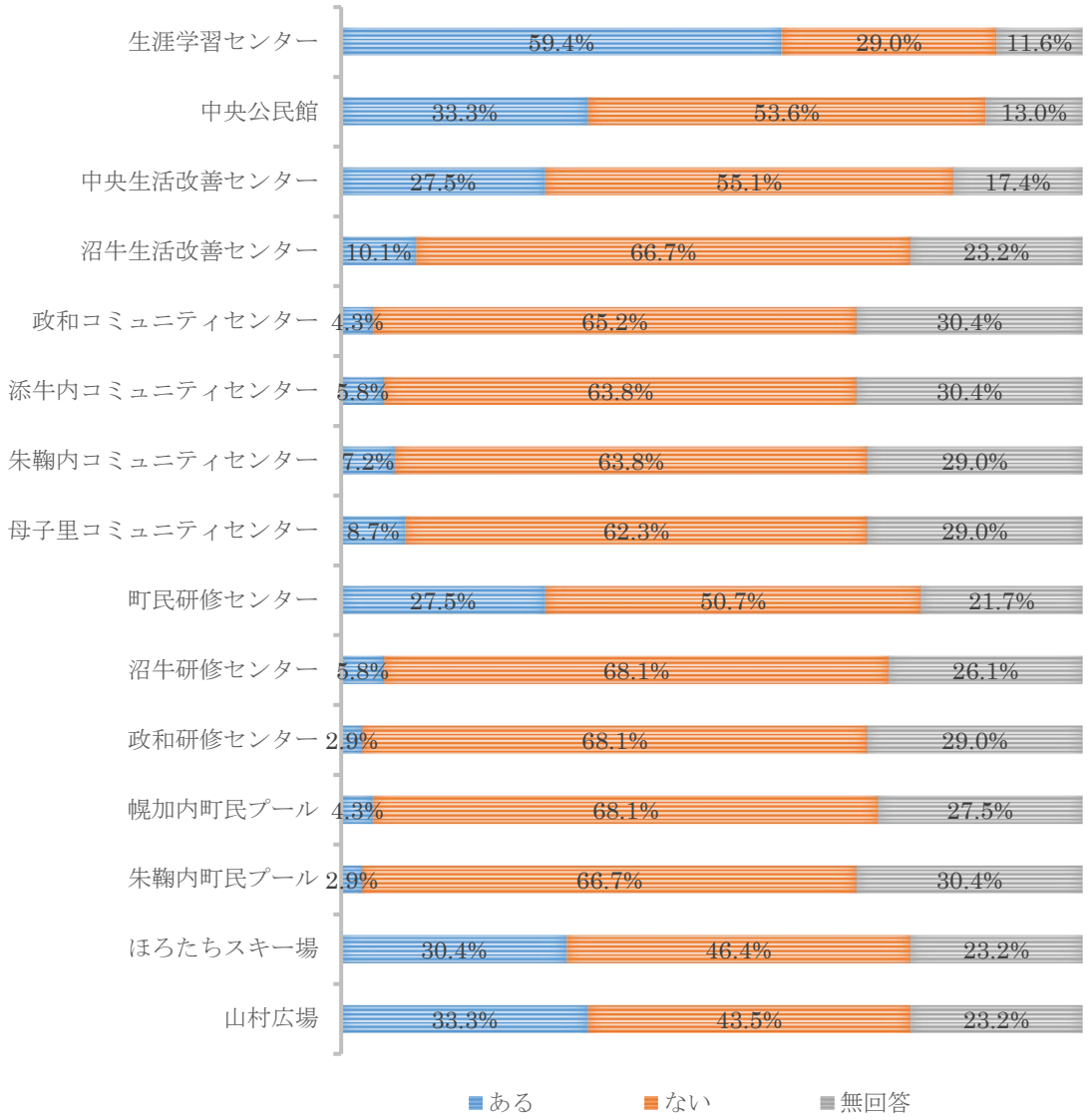

問15男女別割合
町の広報誌
69.7%
69.4%
IP電話
51.5%
55.6%
自治会の回覧板
24.2%
25.0%
友人・知人や過去の受講者の評判・口コミ
9.1%
30.6%
町のウェブサイト
21.2%
19.4%
公民館や図書室などでのポスター、チラシ
12.1%
13.9%
その他
0.0%
2.8%
特にない
9.1%
8.3%
無回答
3.0%
0.0%
男性
女性


問15年齢区分別割合
町の広報誌
60.7%
75.6%
IP電話
46.4%
58.5%
自治会の回覧板
25.0%
24.4%
友人・知人や過去の受講者の評判・口コミ
28.6%
14.6%
町のウェブサイト
25.0%
17.1%
公民館や図書室などでのポスター、チラシ
14.3%
12.2%
その他
3.6%
0.0%
特にない
10.7%
7.3%
無回答
0.0%
2.4%
39歳以下
40歳以上

5　幌加内町の社会教育施設について（実態）

幌加内町の社会教育施設についてお聞きします。

問16あなたは、この２年間くらいの間に、幌加内町の社会教育施設を利用したことがありますか。また、施設についてのご意見・ご要望などがありましたら記入してください。



生涯学習センター

・図書館の中ではなく、アエル入ってすぐのところに机を増やしてほしい。（女 10 代）

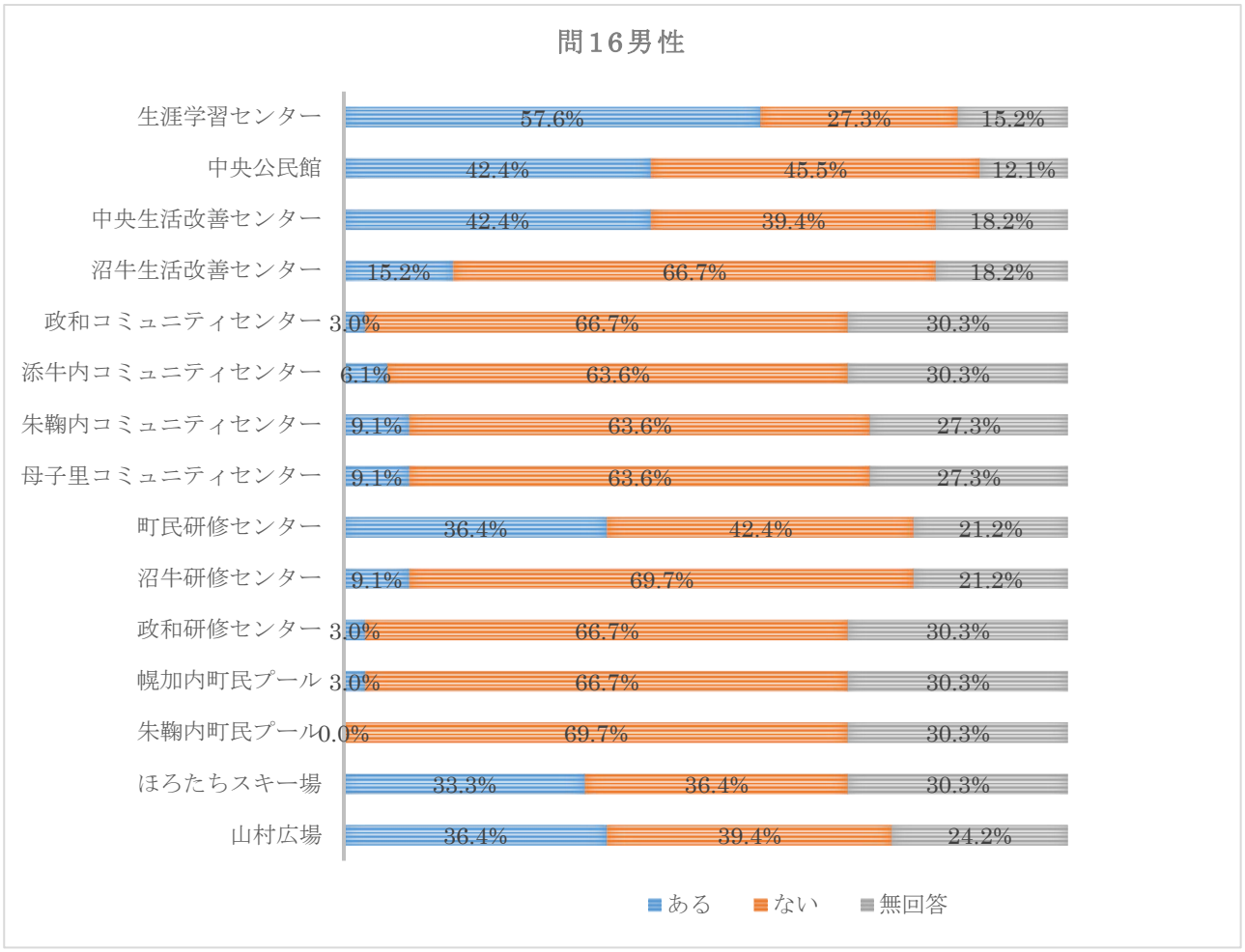
・あえる調理室→料理講習会等に参加すると、調理用具、備品の数が揃っていないこともあり、先生が動きづらそうにしている事がありました。借用する際に（ネットでもいいので）揃っている道具などわかると、持ち込みなどもできて、動きやすいのでは？と感じました。（女 40 代）

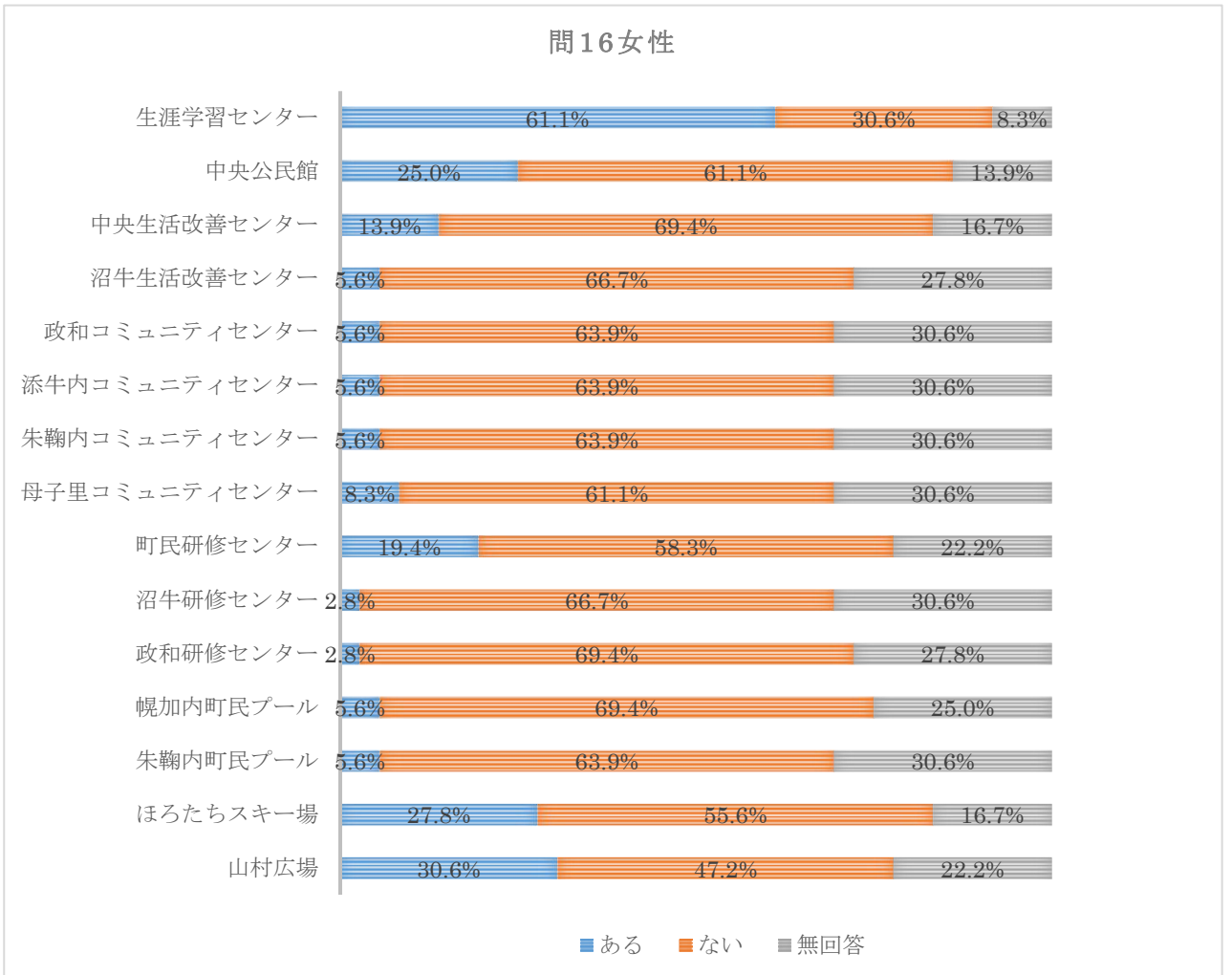
中央生活改善センター

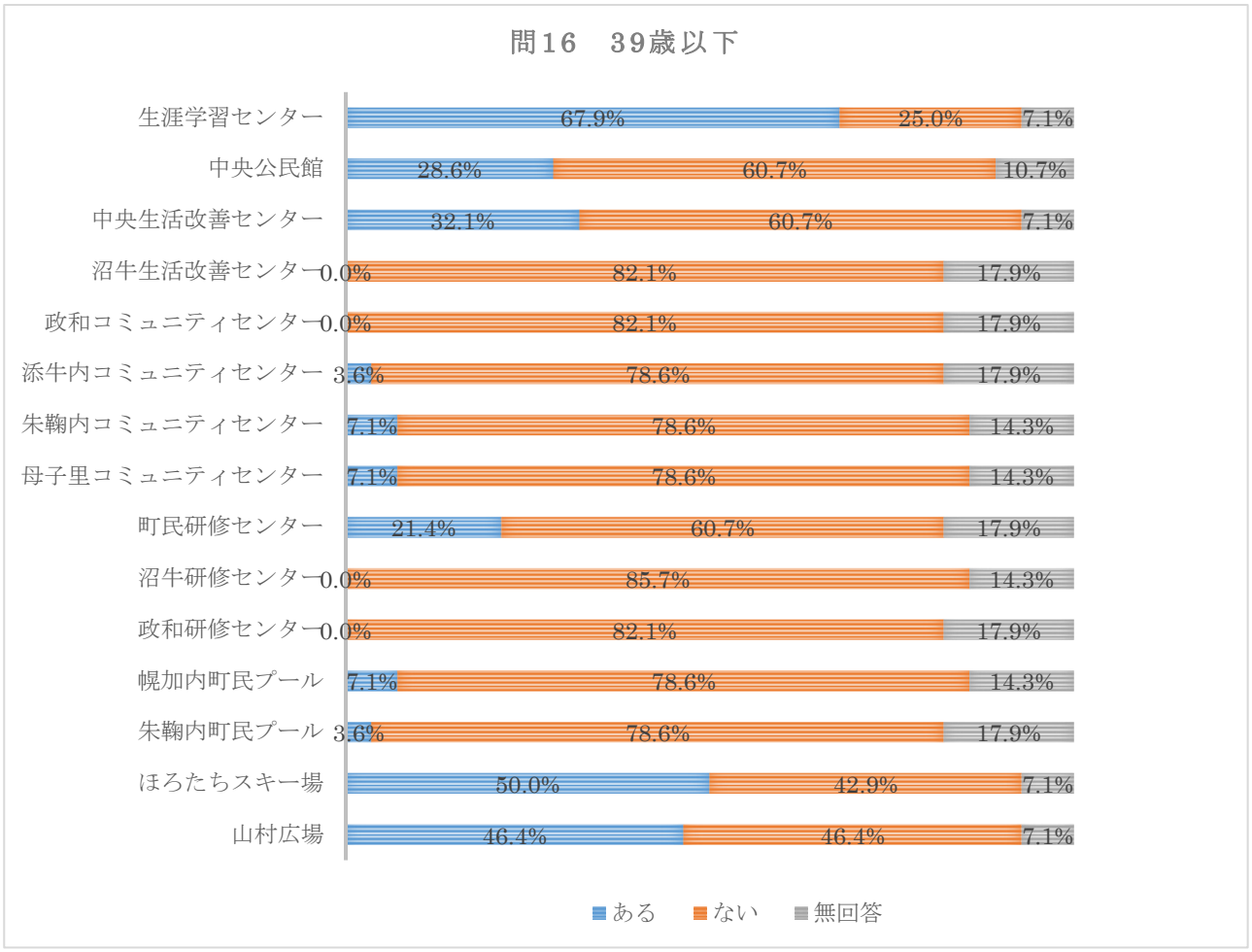
・改善センターそば道場・調理室→料理講習会等に参加すると、調理用具、備品の数が揃っていないこともあり、先生が動きづらそうにしている事がありました。借用する際に（ネットでもいいので）揃っている道具などわかると、持ち込みなどもできて、動きやすいのでは？と感じました。（女 40 代）

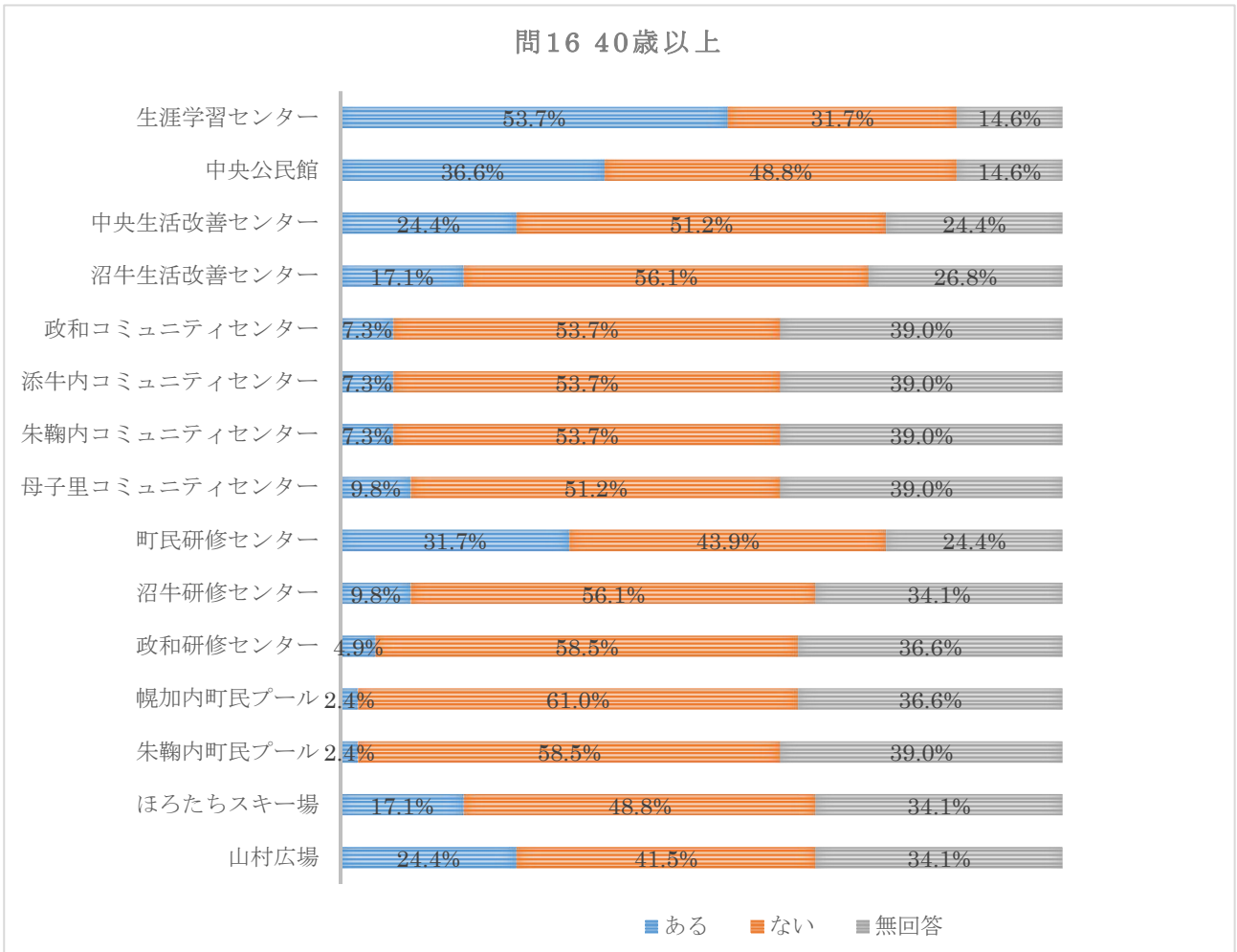
山村広場

・グラウンドが草だらけなのでもう少し管理をしてほしい。子供たちも遊んでいるので危ないと思う（男 30 代）


問16男性
生涯学習センター 57.6% 27.3% 15.2%
中央公民館 42.4% 45.5% 12.1%
中央生活改善センター 42.4% 39.4% 18.2%
沼牛生活改善センター 15.2% 66.7% 18.2%
政和コミュニティセンター 3.0% 66.7% 30.3%
添牛内コミュニティセンター 6.1% 63.6% 30.3%
朱鞠内コミュニティセンター 9.1% 63.6% 27.3%
母子里コミュニティセンター 9.1% 63.6% 27.3%
町民研修センター 36.4% 42.4% 21.2%
沼牛研修センター 9.1% 69.7% 21.2%
政和研修センター 3.0% 66.7% 30.3%
幌加内町民プール 3.0% 66.7% 30.3%
朱鞠内町民プール 0.0% 69.7% 30.3%
ほろたちスキー場 33.3% 36.4% 30.3%
山村広場 36.4% 39.4% 24.2%
ある
ない
無回答


問16女性
生涯学習センター 61.1% 30.6% 8.3%
中央公民館 25.0% 61.1% 13.9%
中央生活改善センター 13.9% 69.4% 16.7%
沼牛生活改善センター 5.6% 66.7% 27.8%
政和コミュニティセンター 5.6% 63.9% 30.6%
添牛内コミュニティセンター 5.6% 63.9% 30.6%
朱鞠内コミュニティセンター 5.6% 63.9% 30.6%
母子里コミュニティセンター 8.3% 61.1% 30.6%
町民研修センター 19.4% 58.3% 22.2%
沼牛研修センター 2.8% 66.7% 30.6%
政和研修センター 2.8% 69.4% 27.8%
幌加内町民プール 5.6% 69.4% 25.0%
朱鞠内町民プール 5.6% 63.9% 30.6%
ほろたちスキー場 27.8% 55.6% 16.7%
山村広場 30.6% 47.2% 22.2%
ある
ない
無回答


問16　39歳以下
生涯学習センター 67.9% 25.0% 7.1%
中央公民館 28.6% 60.7% 10.7%
中央生活改善センター 32.1% 60.7% 7.1%
沼牛生活改善センター 0.0% 82.1% 17.9%
政和コミュニティセンター 0.0% 82.1% 17.9%
添牛内コミュニティセンター 3.6% 78.6% 17.9%
朱鞠内コミュニティセンター 7.1% 78.6% 14.3%
母子里コミュニティセンター 7.1% 78.6% 14.3%
町民研修センター 21.4% 60.7% 17.9%
沼牛研修センター 0.0% 85.7% 14.3%
政和研修センター 0.0% 82.1% 17.9%
幌加内町民プール 7.1% 78.6% 14.3%
朱鞠内町民プール 3.6% 78.6% 17.9%
ほろたちスキー場 50.0% 42.9% 7.1%
山村広場 46.4% 46.4% 7.1%
ある
ない
無回答


問16 40歳以上
生涯学習センター 53.7% 31.7% 14.6%
中央公民館 36.6% 48.8% 14.6%
中央生活改善センター 24.4% 51.2% 24.4%
沼牛生活改善センター 17.1% 56.1% 26.8%
政和コミュニティセンター 7.3% 53.7% 39.0%
添牛内コミュニティセンター 7.3% 53.7% 39.0%
朱鞠内コミュニティセンター 7.3% 53.7% 39.0%
母子里コミュニティセンター 9.8% 51.2% 39.0%
町民研修センター 31.7% 43.9% 24.4%
沼牛研修センター 9.8% 56.1% 34.1%
政和研修センター 4.9% 58.5% 36.6%
幌加内町民プール 2.4% 61.0% 36.6%
朱鞠内町民プール 2.4% 58.5% 39.0%
ほろたちスキー場 17.1% 48.8% 34.1%
山村広場 24.4% 41.5% 34.1%
ある
ない
無回答

6　幌加内町の社会教育行政について（実態）

幌加内町の社会教育行政についてお聞きします。

※　社会教育行政とは、教育委員会が町民の社会教育活動（学習・スポーツ・文化・創作・地域実践活動等）が有効に実践できるよう環境条件の整備や必要な支援を行い、その奨励に努めることです。

問17　幌加内町の社会教育行政についてのご意見・ご要望などがありましたら記入してください。

・施設の利用は完全な予約制にしては、思います。（特に夜間）全く予定もないのに留守番を雇い、照明をつけておくのは非常に無駄だと感じています。考慮してください。（男 70 代）

・我子育て中の頃から（３０年前）見ると色々な面で、様変わり近頃の事は良くわかりませんが、幌加内町の子供達の為に必要な支援をしてあげて下さい節なる思いまで、です。（女 60 代）

・生活や活動に制限がかけられている今なのに、こういうアンケートが送られてくる意味がわからない。今年、幌加内町は、活発に活動していく気なのかな？って思ってしまいます。（女 40 代）

・子供達がきがるに使えるサッカーボールや運動道具などを教育委員会においておき子供達にかし出し出来るようなシステムを教えて頂けたらもっと子供達が山村広場などで元気に遊んでくれると思います（男 40 代）

・小学生・中学生を中心とした事業を増やしてほしい。（男 40 代）

・飲み物や食べ物を持ち込んで、勉強できるところが少なすぎる。バスの交通網増やしてほしい。幌加内から旭川行くバスがあってほしい。（女 10 代）

・いつもありがとうございます。とても充実していると感じています。今後とも宜しくお願いいたします。（女 60 代）

・幌加内では高齢者が多く介護施設で働いていますが資格取得するには旭川まで行かなければなりませんが子供が学校や保育園が終わるまでに帰って来る事がむずかしいので幌加内で資格取得を出来る様に出来ませんか？又、金額的にも安く取得出来たらと思います、介護だけではなく、色々な資格を町で取得出来たらと思います。（女 40 代）

幌加内町第 10 次社会教育中期計画

令和３年３月

幌加内町教育委員会

〒074-0412 雨竜郡幌加内町字親和

TEL 0165-35-2177　FAX 0165-36-2100